

令和4年度

事業実績報告書

- ※ 法人本部事業
- ※ 障害者支援施設 たまりメリーホーム
生活介護
施設入所支援
- ※ 短期入所事業 たまりメリーホーム
- ※ 日中一時支援事業
- ※ 共同生活援助 こだま
- ※ 生活介護ひかり
- ※ 相談支援事業所 たまりメリーホーム

社会福祉法人 敬山会

令和4年度 法人本部事業実績報告書

1. 実施事業

事業所名	事業内容	定員	事業開始年月日
障害者支援施設たまりメリーホーム	生活介護	60名	1993年04月01日
	施設入所支援	50名	
	短期入所事業	10名	
	日中一時支援事業	5名	
生活介護事業所ひかり	生活介護	30名	2015年04月01日
共同生活援助事業所こだま	共同生活援助（グループホーム）	7名	2013年04月01日
相談支援事業所たまりメリーホーム	①一般相談支援事業 ②特定相談支援事業 ③障害児相談支援事業		2007年04月01日

2. 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催状況

(1) 理事会

開催期日	内 容		出席者
令和04年 06月10日	報告	① 監事監査 ② 理事長の職務執行状況報告	理事 6名 監事 2名
	議案	① 令和3年度事業実績報告（案）について ② 令和3年度決算報告（案）について ③ 社会福祉充実計画（案）について ④ 令和4年度定時評議員会の開催について	
令和04年 12月09日	報告	① 理事長の職務執行状況報告	理事 6名 監事 2名
	議案	① 令和4年度第一次補正予算（案）について ② 育児・介護休業等に関する規則の改定（案）について ③ 令和4年度第2回評議員会の開催について	
令和05年 03月10日	議案	① 令和4年度第2次補正予算（案）について ② 令和5年度事業計画（案）について ③ 令和5年度予算（案）について ④ 給与規程の改定（案）について ⑤ 令和4年度第3回評議員会の開催（案）について	理事 6名 監事 2名

(2) 評議員会

開催期日	内 容		出席者
令和04年 06月25日	報告	① 監事監査の結果報告 ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 令和3年度事業実績報告	評議員 8名 監事 2名 理事 1名
	議案	① 令和3年度決算報告（案）について ② 社会福祉充実計画（案）について	
令和04年 12月17日	報告	① 理事長の職務執行状況報告 ② 育児・介護休業等に関する規定の改定について	評議員 8名 監事 2名 理事 1名
	議案	① 令和4年度第一次補正予算（案）について	
令和05年 03月18日	報告	① 給与規程の改定について	評議員 8名 監事 2名 理事 1名
	議案	① 令和4年度第2次補正予算（案）について ② 令和5年度事業計画（案） ③ 令和5年度予算（案）について	

3. 監事監査

実施期日	結 果
令和04年 06月06日	指摘事項、提案事項なし

4. 社会福祉法人一般指導検査

実施期日	指導検査項目	所轄	対象施設等	結果
令和04年 8月29日	指定障害福祉サ ービス事業所等 の实地指導	茨城県 及び小 美玉市	障害者共同生活援助施設こだま	指摘事項なし

5. 研修関係（研修会参加状況等は、別に記載）

※新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、ほとんどがウェブによる研修であった。

6. 公益的取組み（法人独自の取組） ※詳細は別に記載

- (1) 地域清掃活動の実施
- (2) 福祉車両貸出事業の実施
- (3) 緊急一時保護事業の実施

7. 新型コロナウイルス感染症の発生状況

(1) たまりメリーホーム

- ①04月25日～05月31日（クラスター発生）
感染者：利用者（19人） 職員（18人）
- ②11月20日～12月08日（クラスター発生）
感染者：利用者（5人） 職員（1人）
- ③その他の感染者（施設外での感染）
職員（4人）

(2) ひかり

- ①施設内での感染者
利用者（0人） 職員（2人）
- ②その他の感染者（施設外での感染）
利用者（4人） 職員（5人）

令和4年度「社会福祉法人 敬山会」事業実績報告書

【令和4年度重点目標等に対する評価】

重点目標	評 価
<p>1. 利用者の人格や権利及び尊厳に対する尊重を促し、利用者本位のサービスを提供していく</p> <p>①苦情解決制度の活用</p> <p>②身体拘束廃止・虐待防止委員会の定期的な開催と、内容の周知（身体拘束の点検と、虐待防止への取り組み）</p> <p>③身体拘束実施時の適切な記録</p> <p>④身体拘束・虐待防止に関する研修会の強化</p>	<p>○苦情について体制は整備されており、苦情と要望を分けている。今年度は19件の苦情と9件の要望が挙げられ、それぞれ解決に向けて取り組んでいる。説明不足から生じる苦情が目立つため、十分な説明と理解が得られるようになっていかなければならない。また、職員個々に対する苦情についても個々の職員が、出された苦情を受け止め、また組織全体のものとして捉え、改善していくようにしている。今後全職員が表面化していない様々な苦情や要望を把握・表出し利用者に一層満足していただく努力が必要である。</p> <p>○身体拘束については、身体拘束等適正化のための指針、法人独自で作成した身体拘束基準に沿って、委員会と個別支援計画モニタリング時に身体拘束者の評価を行っている。継続的に拘束が必要な場合は、個別支援計画承諾時に再度説明し承諾を得ている。虐待防止に関しては、虐待防止のための指針に沿って、虐待防止委員会にて、職員の良い所を評価するニヤリ・ホット、年2回職員・利用者セルフチェック、心理的安全性について取り組み、虐待防止に取り組んでいる。</p> <p>○虐待防止委員会にて拘束時の記録の徹底を図り、個別支援計画でも毎月評価を行っている。</p> <p>○毎年施設内研修で権利擁護についての研修を行っている。今年は「適切な身体拘束の考え方と拘束実施時の対応について理解する」「不適切な対応について理解する」「幸せな組織づくり」を確立し、風通しの良い環境を構築する」を目的とし、研修の法的根拠や障害者虐待の実態を踏まえ、個人・グループワークにより検討し理解を深めている。今後グループワークで出された意見について委員会にて検討し、環境改善を図っていく。</p>
<p>2. 安心・安全な生活を提供していく</p> <p>①安全対策委員会中心にリスクマネジメントの実践と充実（事故予防の視点での個別支援計画を作成する）</p> <p>②車輛、器具機械、設備等の定期的な点検</p> <p>③介護技法を見直し、知識・技術の向上を図り、また福祉機器を導入・活用することで、職員の業務負担軽減、安全介護を徹底する</p> <p>④健康管理、感染症の発生・蔓延防止と発生時の対応強化</p> <p>⑤定期的な防災訓練の実施と防犯対策の強化</p> <p>⑥事業継続計画（BCP）に基づく訓練と見直し（自然災害・感染症）</p> <p>⑦安全運転管理の強化（運行前後の車両点検及び目視又はアルコール検知器を用いた点検）</p>	<p>○事故発生防止及び事故発生時の対応指針を整備し、法人として事故報告48件、ヒヤリハット28件出され、安全対策委員会でリスクレベル表に沿って委員会を招集し、対策を検討している。更に事故分析や評価を毎月行っているが、繰り返される事故もあるため、対策の強化に努める。また事故予防の視点で、個々にリスクマップを作成し、個別支援計画にて対策を強化していくこととしている。</p> <p>○車輛、器具機械、設備の点検を定期的実施している。</p> <p>○介護技法の見直しを、利用者の状態変化等が生じた時、新規入所者（1名）の入所時等、多職種と連携を取りながら見直してきた。今後も計画的に見直しを実施し、安全な介護技法の習得に努める。また、福祉機器について</p>

	<p>は現在リフトがメリーホームに3台、自立支援型移乗介助ロボットがメリーホームに1台、ひかりに1台、ささえ手リフトがメリーホームに1台、ひかりに1台、介護リフトスマイルがひかりに1台、こだまに1台の計9台で、職員の腰痛予防また安全な介護に努めている。</p> <p>○感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止措置として、ワクチン接種、基本的な感染対策を徹底し、家族の面会時間・面会場所等の制限、外出、外泊の制限、施設内行事の縮小等の対策を昨年度から継続して行っている。職員は、体調不良時には即報告してもらい、対策をしてきた。また11月から2月まで、茨城県から支給された抗原キットを活用し、定期的に陰性を確認して勤務するようにした。しかし、メリーホーム職員28名、利用者24名、ひかり職員7名、利用者4名の感染者が確認された。嘱託医や保健所等と連携を取り、ゾーニングにより対応を行った。今後社会情勢等を鑑み、マニュアル、事業継続計画（BCP）を再度見直し、適切に規制を緩和することで、以前の生活に戻していけるようにし、地域に根差したサービスを提供していく。</p> <p>その他の感染症としては、職員2名がインフルエンザに感染したが、利用者で感染した方はいなかった。</p> <p>○様々な状況を想定し、毎月防災訓練を実施している。また年2回の総合防災訓練を毎年実施しているが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、消防署のみで、消防団、近隣の工場については見合わせている。更に、小美玉市と災害時福祉避難所として協定を結んでおり、災害時に地域の拠点となるようにしている。防犯に関しては、防犯カメラをメリーホームに7台、ひかりに2台、こだまに4台、こだまⅡに4台設置している。その他、メリーホームに警察と連動している非常通報設備や、メリーホーム事務所とひかりに防犯システムが設置してある。しかし、防犯訓練は実施しておらず、今後検討が必要である。</p> <p>○自然災害事業継続計画については、通報訓練、地震を想定した訓練をマニュアルに沿って実施している。感染症事業継続計画については、ガウンテクニク等の研修を行っており、感染症蔓延時に、マニュアルの見直しを行っている。今後事業継続計画の訓練と位置付けて実施していく必要がある。</p> <p>○道路交通法の改正により、運行前後の車両点検及び目視又はアルコール検知器を用いた点検が義務化されたため、アルコール検知器を使用し、安全運転管理に努めている。</p>
<p>3. 職員が誇りとやりがいを持ち、安心して気持ちよく働ける環境を目指していく</p> <p>①真の報・連・相を目指し、円滑なコミュニケーションを行う</p>	<p>○お互いに情報を共有し合うだけでなく、お互いに共感できるようにすることが必要であり、今後更に円滑なコミュニケーションが必要である。</p>

<p>②職員全員がお互いに尊重し合い、ハラスメントを起こさせない雰囲気作り</p> <p>③職種に関わらず、お互いの業務について理解を持ち、連携して支援にあたる</p> <p>④1人で悩まず、みんなで考え、風通しの良い組織づくり</p>	<p>○働きやすい職場にするために、ネット研修を通して、業務改善に関する内部研修を実施し、働きやすい職場を目指してきた。また組織全体でハラスメントを意識しながら接するようになっている。</p> <p>○常勤の新規採用職員に関しては、各部署の研修を実施し、他部署の業務内容を理解してもらっている。その他の職員もお互いに協力し、連携しながら支援している。</p> <p>○組織体制が確立されており、人事考課時また普段の中で上司に相談している。新規採用職員にはプリセプター体制をとり、月1回の面接を行い、メンタル的なケアも出来るようにしている。</p>
<p>4. 地域と協力し合い地域福祉の増進に努めていく</p> <p>①各事業所との連携強化</p> <p>②地域の福祉教育推進、ボランティアの積極的受け入れ、施設行事への参加呼びかけ</p> <p>③利用者の外出及び社会参加の推進</p> <p>④公益的取組み（緊急一時保護事業、福祉車輛貸出事業等）の促進</p> <p>⑤施設入所、生活介護、短期入所、日中一時支援利用者の積極的拡大と、サービス内容の充実</p> <p>⑥施設広報誌の発刊や、ホームページでの情報開示と、その他ブログ等の SNS を活用した情報発信外部への積極的な情報提供</p>	<p>○メリーホームでは、死亡退所1名、新規利用者は1名であった。施設入所待機者が少ないために、各関係機関との連携を強化し、待機者確保に努めていく必要がある。</p> <p>ひかりでは新規利用はなかったが、退所者2名あり、合計32名の利用がある。また送迎サービスについては、車輛4台で実施し、現在16名の利用者が送迎サービスを利用している。活動は作業が充実してきており、作業能力に応じて、評価している。また外部講師による音楽活動やその他の日中活動は創意工夫しながら実施しており充実してきている。こだまでは、利用者の変動はなく、7名の利用者が確保出来ている。活動は独自の外出について新型コロナウイルスの関係で縮小している。入浴は夏場に夜間シャワー浴を実施し、ニーズに即した支援ができています。今後こだま2開所に向けて利用者、職員の確保に努めていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防のため、小学校との交流会やボランティアの受け入れについては実施していない。また納涼祭・クリスマス会は、利用者と職員のみで、規模を縮小して実施している。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防に努め、外出支援や野外散策、ナイスハート作品展見学等、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、感染対策を取りながら、外出行事を行っている。今後も、新型コロナウイルスの感染状況を確認し、感染防止に努めながら実施していかねばならない。</p> <p>○公益的な取り組みについては、地域の清掃活動を年2回実施し、小学校との交流や地域行事へ係員派遣については、新型コロナウイルス感染予防のため、実施していない。また、緊急一時保護事業で、小美玉市より3件の依頼があり、受け入れた。その他福祉車輛貸出事業では、延べ41名の利用があった。更に茨城県社会福祉施設経営者協議会が実施する「いばらき生活支援事業」に登録している。今後、社会福祉法人としての役割を果たすため、地域貢献事業を積極的に行っていく必要がある。</p>

	<p>○施設入所については、待機利用者が少ないため、欠員期間が短期間になるよう、利用者確保に努めていく。生活介護については地域のニーズを把握し、また個々のニーズに対応できるよう活動の充実を図っていく。短期入所に関しては、新型コロナウイルス感染予防策として規模を縮小して実施しているが、新型コロナウイルスの感染状況を確認し、感染防止に努めながら実施していかなければならない。今後新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、在宅・地域福祉に貢献できるようサービスの充実、利用者確保に努めていく必要がある。</p> <p>○定期的に広報誌を発刊し、ホームページやワムネット等を活用し情報開示に努めている。またホームページのブログを充実させ、コロナ禍における利用者の状況を伝えられるよう工夫している。今後外部からも情報収集に努め、積極的に情報開示に努めなければならない。</p>
事業運営計画	評価
<p>1. 利用者個々のニーズにあったサービス提供</p> <p>①利用者参画のもと個別支援計画を作成し、各部署間での連携・情報共有を密にし、質の高い生活を送れるようにする。また、地域移行の意思確認を行っていく。</p> <p>②利用者個々の尊厳を尊重し、プライバシーや羞恥心等に配慮した支援を行い、完全同性介護について検討していく。</p> <p>③季節感のある献立、選択食のより一層の充実を図り、栄養量、栄養バランスを考慮し、衛生管理を徹底することで、安心・安全な食事を提供する。また施設入所事業では、栄養マネジメントにより、個々にあった栄養管理を行っていく。</p> <p>④個別リハビリ計画を作成し、機能の維持・回復、更には残存機能を最大限活用していけるように、関係職種と協同しながら取り組んでいく。また日常生活の一環として行えるよう努めていく。</p> <p>⑤利用者個々の健康状態を常に把握し、医療機関と連携を取りながら、疾病の早期発見、早期治療に努め、入院することなく生活できるように努める。また健康維持増進のための情報提供を行い、その必要性を理解していただけるよう努める。</p> <p>⑥豊かに、有意義に楽しく生活していくために、一人一人の余暇の過ごし方、また様々な役割を果たし、承認される喜びが得られるよう、積極的に支援していく。</p>	<p>○個別支援計画は、利用者も支援会議に参加し、所定の手順に従って作成されている。また毎月評価を行い、プランの実践や必要に応じた見直しに努めている。記録についてはパソコンで記録し、情報が共有され、支援の統一化を図っている。地域移行に関してはアセスメント時に行っているが、希望者はいないため、情報提供等積極的に行っていく。</p> <p>○プライバシーや羞恥心については、カーテン等で配慮している。また、個々のプライバシーに関する話を話す時は、場所をわきまえて話すように心がけている。同性介護について、メリーホームの入浴については実施出できているが、ひかりでは実施できていない。排泄等については完全には出来ない状況である為、今後も引き続き検討していく必要がある。</p> <p>○野外食、バイキング食は新型コロナウイルス感染防止のため、未実施であった。また選択食については、職員数の都合で実施できなかった。今後より一層楽しく、変化のある内容にしていく必要がある。また、ハサップに基づいて衛生管理を行い、安心・安全な食事を提供している。栄養管理については、栄養ケアマネジメントにより行っていたが、今年度は実施できなかった。しかし、リスクの高い利用者に関しては、各部署と連携し個別支援計画にて対策を講じてきた。今後、栄養ケアマネジメントを再開し、計画的に栄養管理を行っていく必要がある。</p> <p>○リハビリ計画書を作成し、利用者、家族から承諾を得ている。また定期的に状態確認等を行い、日々のリハビリも、各職種で連携を取りながら実施している。今後更に日常生活の中でリハビリを意識しながら取り入れていく必要がある。</p>

	<p>○入院実人員13人、延292日と昨年度より71日増加している。今後も普段の利用者の状態を把握し、些細な変化も見逃さないよう、各部署連携を取りながら、早期発見に努め、医療機関との連携を密にしていく。また、施設内だけでなく、適度な運動や、屋外に出ることの重要性を説明し、積極的な支援をし、健康維持増進を図っていく。</p> <p>○日中活動については、各種クラブ活動を計画的に実施し、個別支援計画のもと、個々の余暇活動を支援している。ひかりでは軽作業を積極的に取り組んでおり、その他の日中活動も創意工夫しながら取り組んでいる。</p>
<p>2. 職員の資質向上と人材確保・定着</p> <p>①創意と工夫にあふれたサービスの提供が出来るように、豊かな発想、多様な視点で業務にあたり、知識・技術・能力の向上に努める。</p> <p>②施設内・施設外研修を計画的に行っていく。</p> <p>③各種研修会への参加、資格等の取得等自己研鑽に努めていく。</p> <p>④人事考課制度を充実させ、意図的・計画的に職員を育成していく。</p> <p>⑤役割を遂行し、会議、委員会等を充実させ、サービスの充実を図っていく。</p> <p>⑥福祉機器等を活用し、腰痛予防に努め、腰痛検診を2回/年実施する。</p> <p>⑦職員の心身のリフレッシュのため、年次有給休暇の取得促進を図る。</p> <p>⑧ストレスチェックを1回/年実施し、職員のストレスの状態を把握し、職場環境完全を図る。</p> <p>⑨多様な働き方ができるよう、職員区分を構築し、働きやすい環境を整える。</p>	<p>○総合的な支援に対する知識・技術・能力の向上を目的に、コロナ禍の中、オンライン中心に様々な研修に参加している。また各部署連携をとり、多様な視点での支援を行うようにしている。</p> <p>○研修委員会にて、年間の施設内研修の計画を立て、実施している。また、人事考課面接時に希望研修を把握し、オンライン中心に外部研修に参加している。</p> <p>○個々の職員が積極的に資格取得等自己研鑽に励めるように体制を整え、現在メリーホームで社会福祉士7名、介護福祉士18名取得、ひかりで、介護福祉士4名取得、相談支援事業では社会福祉士・精神保健福祉士1名取得している。またメリーホーム生活支援員1名が、准看護師資格取得をしている。個々の希望研修を把握し、人事考課制度とリンクさせ、自己研鑽に努めている。</p> <p>○面接前に、職員個々の良いところ、改善事項を明確にし、面接を行っている。また評価後にフィードバックし、個々の成長につながるようにしている。</p> <p>○委員会については、支援検討委員会では「保温対策」「オムツについて」、虐待防止委員会では「身体拘束の見直し」「虐待防止セルフチェック」「ニヤリホット」、給食委員会では「マニュアル見直し（業務内容、ハサップ対応）」「行事食の確認」「業務統一化に向けて」「ネット研修」「新型コロナ感染時の給食業務と今後の対応」、安全対策委員会では「事故対策の検討・周知」、「リスクマップ」を作製し、各委員会の目的に沿って活動してきている。また事故対策が、身体拘束になるケースもあり、合同委員会にて対策を検討してきた。今後更に取り組み内容を充実させ、各委員会との連携を図りながら、継続的に行っていく。</p> <p>○腰痛検診については年2回実施し、福祉機器も増えてきており、更に活用・定着に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p>○全職員5日以上年次有給休暇を取得しており、生活支援員については、年間で年次有給休暇取得予定の希望を取り、取得してもらっている。</p> <p>○Webでストレスチェックが出来る体制が整</p>

	<p>えられており、各部署ごとにストレスの状態を把握することが出来るようになってきている。今後高ストレス者が多い部署について、対策を講じていかなければならない。</p> <p>○正規職員と同等の勤務時間以下で勤務するパートナー職員、正規職員が定年退職後、再雇用する再任用職員で勤務する職員もおり、多様な働き方ができる環境が整っている。</p>
<p>3. 緊急時対応の充実</p> <p>①常に協力病院と連携を密にし、身体状況等に変化が生じた時には、速やかに医療機関と連携して対応していく。短期入所・日中一時事業については、家族との連携を密にし、必要に応じ医療機関と連携して行う。また、急変時には適切な対応ができるよう、定期的に研修を実施していく。</p> <p>②災害発生時に適切な対応ができるよう、防災訓練を実施すると共に、備蓄品の管理を行っていく。また、災害発生時には、行政と連携し、地域の拠点となれるように努めていく。</p> <p>③防犯対策を強化し、不審者等に対する対応を適切に行い、安心・安全に生活できるように努める。</p> <p>④災害・感染症等発生時、継続的なサービスの提供ができるよう、他事業所との連携に努める。</p> <p>⑤事故発生防止及び事故発生時の対応、身体拘束等適正化、虐待防止についての研修を実施し、迅速に対応できるように努める。</p> <p>⑥より多くの職員が喀痰吸引等の研修を受講し、速やかに実地研修を行うと共に、介護福祉士資格取得のため、実務者研修を推進し、緊急時も安心して医療的支援が行えるように努める。</p>	<p>○各部署間で連携を取りながら、身体状況の早期発見に努め、医療機関と連携を取りながら適切な治療を行っている。利用者の重度化に伴い、今後更に医療機関との連携と、速やかな対応を強化していく必要がある。在宅の利用者に関しては、新型コロナウイルス蔓延防止のため、新規利用は中止している。今後も事前に状態を十分に把握すると共に、家族と連携を密にしながら対応している。また急変時の対応について、研修を実施し、適切に対応ができるよう取り組んでいる。</p> <p>○定期的に防災訓練を実施し、消防署等とも連携をとっている。備蓄品も定期的に確認し、入れ替えを行っている。また小美玉市と協定を結んでおり、地域の拠点となるようにしている。</p> <p>○防犯カメラ、非常通報装置を設置し、防犯対策を行っている。今後防犯訓練を検討していく必要がある。</p> <p>○自然災害発生時・新型コロナウイルス発生時の事業継続計画（BCP）について、今後定期的に見直しを行い、有事の時に早期事業復帰・継続できるようにしていく必要がある。また自家発電装置を整備し、事業継続できるように改善している。</p> <p>○事故発生時の対応、身体拘束・虐待防止に関する内外研修を実施し、知識・技術が向上してきている。今後も継続して実施し、研鑽していかなければならない。</p> <p>○メリーホーム経管栄養者11名、痰吸引者7名（内気管切開者3名）、ひかり経管栄養者2名、痰吸引者2名（内気管切開者2名）利用している。介護職員等痰の吸引等実施研修に、介護職員5名（特定）、1名（不特定）が受講し、メリーホーム特定21名・不特定3名、ひかり特定8名、の職員が終了している。また指導者については、不特定2名、特定1名の職員が終了している。今後も継続的に行っていく必要がある。</p>

令和4年度 たまりメリーホーム実績報告書

【利用者の状況】

《入所利用者》

◆ 入退所の状況

-) 前年度からの継続入所者 52 名
-) 今年度入所者 1 名
-) 今年度退所者 1 名 (死亡退所 1 名 その他 0 名)
-) 月別状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在者数	A	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	624
月初日の新規入所者	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入退所者数	退所者 C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月初日入所者数	D	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	624
2日以降の	新規入所者 E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
入退所者数	退所者 F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
月末日在者数 (D-C)+(E-F)	G	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51	53	52	624

Dの内訳	県内より	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	612
	県外より	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
B・Eの内訳	在宅より	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	他施設より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
C・Fの内訳	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◆ 外泊・入院状況 (減額日数) *外泊・入院の初日・終了日は含まない

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入 院	15	67	19	43	4	21	45	43	14	3	9	9	292
合 計	15	67	19	43	4	21	45	43	14	3	9	9	292

◆ 年齢別・性別構成

	20歳未満	20-25歳未満	25-30歳未満	30-35歳未満	35-40歳未満	40-45歳未満	45-50歳未満	50-55歳未満	55-60歳未満	60-65歳未満	65-70歳未満	70歳以上	計
男	0	0	1	2	3	2	2	2	4	7	3	1	27
女	0	0	1	2	3	2	1	4	3	2	3	4	25
計	0	0	2	4	6	4	3	6	7	9	6	5	52

◎平均年齢等

	最小年齢		最高年齢		平均年齢	
男	29歳	3ヶ月	75歳	8ヶ月	53歳	5ヶ月
女	29歳	11ヶ月	73歳	2ヶ月	53歳	2ヶ月

◆ 在所期間

	1年未満	1-2年未満	2-3年未満	3-4年未満	4-5年未満	5-6年未満	6-7年未満	7-8年未満	8-9年未満	9-10年未満	10年以上	計
男	1	1	1	3	1	3	1	2	1	1	12	27
女	0	1	2	0	1	1	3	3	0	0	14	25
計	1	2	3	3	2	4	4	5	1	1	26	52

◆ 親族等の状況

	① 配偶者	② 親	③ 子供	④ 兄弟姉妹	⑤ ①~②以外の親族	⑥ 知人のみ	⑦ 身寄り無	⑧ 不明	計
男	2	15	1	7	1	0	1	0	27
女	2	17	1	4	1	0	0	0	25
計	4	32	2	11	2	0	1	0	52

◆ 入所前の状況

	家庭					福祉施設			医療機関			その他	計	
	親と同居	配偶者と同居	子供と同居	その他の親族と同居	独居	その他	児童施設	身体障害者施設	知的障害児者施設	その他の福祉施設	一般病院			精神病院
男	11			0			8	1		7	0	0	0	27
女	16		1	1			2	1		4	0	0	0	25
計	27	0	1	1	0	0	10	2	0	11	0	0	0	52

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	その他	計
男	21	4	2	27
女	21	4	0	25
計	42	8	2	52

◆ 障害支援区分別人員

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	4	23	27
女	0	0	2	23	25
計	0	0	6	46	52

◆ 障害福祉サービス支給市町村

市町村	小美玉市	日立市	つくば市	潮来市	牛久市	土浦市	常陸太田市	ひたちなか市	石岡市	取手市
利用者数	2	1	4	4	2	4	1	1	11	1

市町村	鹿嶋市	常陸大宮市	那珂市	かすみがうら市	筑西市	行方市	鉾田市	笠間市	阿見町
利用者数	2	1	1	2	0	3	3	2	2

市町村	茨城町	大子町	東海村	神栖市	県外
利用者数	1	1	1	1	1

◆ 施設入所延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	797	790	797	794	833	805	818	781	824	822	726	837	9,624
女	748	755	744	775	775	734	749	736	774	775	700	766	9,031
計	1,545	1,545	1,541	1,569	1,608	1,539	1,567	1,517	1,598	1,597	1,426	1,603	18,655

◆ 生活介護実利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	28	28	30	30	28	28	28	29	29	28	28	29	343
女	25	25	25	25	25	26	25	25	25	25	25	25	301
計	53	53	55	55	53	54	53	54	54	53	53	54	644

◆ 生活介護延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	611	621	627	636	644	616	633	606	650	637	546	649	7,476
女	550	575	550	575	575	564	559	544	575	575	500	574	6,716
計	1,161	1,196	1,177	1,211	1,219	1,180	1,192	1,150	1,225	1,212	1,046	1,223	14,192

◆ 障害原因別等人員

	20歳未満		20-25未満		25-30未満		30-35未満		35-40未満		40-45未満		45-50未満		50-55未満		55-60未満		60-65未満		65歳以上		合計			比率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計			
脳性まひ					1	1	1	1	2	3	0	1	1	1	0	1	3	1	3	0	1	3	12	12	24	46%
脳血管障害												1						1	2			1	2	3	5	10%
脊椎損傷等																		1		1	1	2	1	3	3	6%
筋ジストロフィー																					1	0	1	1	2	2%
脳炎後遺症							1															0	1	1	2	2%
頭部外傷															2	2				1		2	3	5	5	10%
日本脳炎																				1	1	1	1	2	2	4%
脊髄小脳変性症																	1					1	0	1	1	2%
低酸素脳症								1					1		1							2	1	3	3	6%
リュウマチ																						0	0	0	0	0%
その他						1				2								1	1	1	1	5	2	7	13	13%
																						0	0	0	0	0%
																						0	0	0	0	0%
																						0	0	0	0	0%
																						0	0	0	0	0%
計	0	0	0	0	1	1	2	2	3	3	2	2	2	1	2	4	4	3	7	2	4	7	27	25	52	

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	7	20	1	14	13	9	14
女	3	22	1	8	17	9	19
計	10	42	2	22	30	18	33

◆ 医的ケアの状況

	経管栄養者	吸引実施者
男	4	4
女	7	6
計	11	10

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	3	17	12	5	0	4	3	1	1	4
一部介助	18	3	13	8	24	3	2	7	4	8
全面介助	31	32	27	39	28	45	47	44	47	40

◆ 移手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
0	3	0	49	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
3	46	2	47	0

【支援の実績】

◆ 事業・行事等の実施状況

4	創立記念日 観桜会・カラオケ大会	利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
5	端午の節句 ゲーム大会			誕生会
6			外出支援	散髪 誕生会
7	七夕祭		散歩会 外出支援	散髪 誕生会
8	納涼祭		外出支援	誕生会
9		利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
10	運動会 焼き芋大会		外出支援	散髪 誕生会
11			外出支援	散髪 誕生会
12	ナイスハートフェスティバル クリスマス会		外出支援	散髪 誕生会
1	新年会	利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
2	節分祭 ゲーム大会		外出支援	散髪 誕生会
3	雑祭り		外出支援	散髪 誕生会
その他	水質調査(5月・11月)			

◆ 余暇活動の実施状況 <入所者>

名 称	参加人員			開催状況	実施回数	実施内容
	男	女	(内)実人員計			
レクリエーション	380 (24)	181 (22)	561 (46)	月8.5回	102	トリムバレー ボッチャ 手投げゴルフ オセロ等
作品制作	110 (14)	46 (11)	156 (25)	月3.75回	45	グループでの作品制作 押し花
カラオケ	402 (16)	160 (15)	562 (31)	月3.75回	45	カラオケ
リラクゼーションクラブ	110 (15)	137 (15)	247 (30)	月3.6回	44	スヌーズレン
			0 (0)			

◆ 余暇活動(料理クラブ)の実施状況

月	参加人員	実施内容	備 考
4	0	無し	
5	0	無し	
6	0	無し	
7	0	無し	
8	0	無し	
9	0	無し	
10	0	無し	
11	0	無し	
12	0	無し	
1	0	無し	
2	0	無し	
3	0	無し	
計	0		

◆ 外出支援の実施状況(メリーホーム)

月	延べ人員	実施内容
4	9	石岡周辺ドライブ
5	0	中止
6	4	スターボックスコーヒー
7	4	ココス
8	3	スターボックスコーヒー
9	3	ウエルサイト石岡
10	3	コマダ珈琲
11	3	ウエルサイト
12	2	三洋堂書店
1	3	ベシア
2	3	スターボックスコーヒー
3	3	カモダコーヒー石岡店
計	40	

◆ テイクアウトの実施状況(メリーホーム・こだま)

月	延べ人員	実施内容
4	22	タカラブネ
5	21	ドミノピザ
6	22	魚べい
7	19	モスバーガー
8	23	漫遊亭
9	34	いずみ荘・シャノワール
10	18	オリーブの丘
11	20	パーミヤン
12	12	シャノワール
1	12	やよい軒
2	20	なか卯
3	16	ラーメンゆきむら
計	239	

◆ 散髪の実施状況 (施設内)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	備 考
男	12	0	13	11	8	13	9	10	17	8	8	10	119	
女	6	0	10	14	7	12	8	11	8	8	10	9	103	
計	18	0	23	25	15	25	17	21	25	16	18	19	222	

◆ 入浴実施状況

◇ 入所利用者 (男性入浴日:月・木曜日(特浴)、火・金曜(一般) 女性入浴日:月・木(一般)、火・金曜日(特浴)
(7月～9月の水曜日は男女隔週で入浴)

月	実施日数	対象人員	延人員 (清拭者含む)	一人当たり 月平均 入浴回数	一人一週 当り平均 入浴回数	実施日1日 当りの 入浴人員	清 拭 延人員	備 考
4	15	52	400	7.7	1.8	28.7	19	
5	6	52	165	3.2	0.7	27.5	116	
6	17	52	433	8.3	1.9	25.5	4	
7	20	51	493	9.7	2.3	24.7	10	
8	21	52	526	10.1	2.4	25.0	14	
9	20	52	496	9.5	2.2	24.8	22	
10	17	52	425	8.2	1.9	25.0	11	
11	12	52	344	6.6	1.5	28.7	51	
12	16	52	420	8.1	1.9	26.3	15	
1	18	52	459	8.8	2.1	25.5	6	
2	16	52	407	7.8	1.8	25.4	9	
3	18	52	459	8.8	2.1	25.5	19	
計	196	623	5027	8.1	1.9	25.6	296	

※計算式 ① 一人当たり月平均入浴回数 : 入浴延人員/対象人員
 ② 一人一週当り平均入浴回数 : 一人当たり月平均入浴回数×7日/30日
 ③ 実施日一日当り入浴人員 : 入浴延人員/入浴実施日数

◆ リハビリテーション実施状況

◇ 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士による訓練等(入所利用者・短期入所利用者・在宅者)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理学療法士	回数	21	4	23	21	21	24	24	20	16	22	22	24	242
	人員	146	22	190	194	152	138	148	121	132	168	164	211	1786
言語聴覚士	回数	6	1	10	8	6	9	6	3	10	7	2	2	70
	人員	12	1	16	15	7	16	12	5	9	9	4	1	107
作業療法士	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇ 実施状況 <理学療法> (入所利用者・短期入所利用者等を含む)

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り 参加人員	備 考 (訓練内容等)
	PTによる	STによる		PTによる	STによる		
4	8	21	51	36	146	6.3	座位保持訓練 起立訓練 立位保持訓練 関節可動域訓練 歩行訓練 床上動作訓練 車椅子移乗訓練 車椅子駆動訓練 補装具等装着訓練 筋力維持増強訓練
5	0	4	21	0	22	5.5	
6	11	23	52	48	190	7.0	
7	11	21	52	41	194	7.3	
8	11	21	51	44	152	6.1	
9	10	24	51	39	138	5.2	
10	11	24	52	44	148	5.5	
11	7	20	52	26	121	5.4	
12	8	16	52	31	132	6.8	
1	9	22	51	32	168	6.5	
2	13	22	51	49	164	6.1	
3	12	24	52	49	211	7.2	
計	111	242	588	439	1786	74.9	

◇ 実施状況 <言語リハビリテーション> (入所利用者・短期等を含む)

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り 参加人員	備 考 (訓練内容等)
	STによる	PTによる		STによる	PTによる		
4	9	6	18	42	12	3.6	言語訓練 口腔ケア 摂食・嚥下訓練
5	0	1	1	0	1	1.0	
6	8	10	24	48	16	3.6	
7	9	8	26	47	15	3.6	
8	6	6	15	24	7	2.6	
9	6	9	25	28	16	2.9	
10	8	6	23	42	12	3.9	
11	3	3	15	16	5	3.5	
12	7	10	16	34	9	2.5	
1	8	7	19	47	9	3.7	
2	8	2	16	42	4	4.6	
3	7	2	13	26	1	3.0	
計	79	70	211	396	107	38.5	

◇ 実施状況 <作業療法> (入所利用者・短期等を含む)

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り 参加人員	備 考 (訓練内容等)
		OTによる			OTによる		
4	11	0	1	11	0	1.0	グループ活動 個別余暇活動 日常生活動作訓練
5	10	0	1	10	0	1.0	
6	22	0	1	22	0	1.0	
7	19	0	1	19	0	1.0	
8	22	0	1	22	0	1.0	
9	18	0	1	18	0	1.0	
10	9	0	1	9	0	1.0	
11	10	0	1	10	0	1.0	
12	11	0	1	11	0	1.0	
1	15	0	1	15	0	1.0	
2	9	0	1	9	0	1.0	
3	9	0	1	9	0	1.0	
計	165	0	12	165	0	12.0	

◇ 面会・外泊の状況

氏名	面会回数	外泊	
		回数	日数
	3	0	0
	2	0	0
	11	0	0
	1	0	0
	1	0	0
	3	0	0
	8	0	0
	10	0	0
	2	0	0
	10	0	0
	0	0	0
	11	0	0
	5	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	0	0	0
	14	0	0
	0	0	0
	1	0	0
	10	0	0
	9	0	0
	2	0	0
	6	0	0
	2	0	0
	1	0	0
	15	0	0
	0	0	0
	5	0	0
	0	0	0
	0	0	0

氏名	面会回数	外泊	
		回数	日数
	14	0	0
	0	0	0
	1	0	0
	10	0	0
	10	0	0
	1	0	0
	8	0	0
	15	0	0
	0	0	0
	0	0	0
	5	0	0
	5	0	0
	1	0	0
	1	0	0
	1	0	0
	0	0	0
	2	0	0
	5	0	0
	6	0	0
	0	0	0
	10	0	0
	8	0	0
	1	0	0
	4	0	0
		0	0
合計	247	0	0

◇ 帰省状況

	夏期	冬期	その他	合計(延)
人員	0人	0人	0人	0人
日数	0日	0日	0日	0日

◇ 家族の行事等への参加状況 (入所利用者・通所利用者・GH利用者)

	納涼祭	クリスマス会	野外散策	メリー会	その他の行事	奉仕活動			
						4月	7月	9月	11月
家族数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※他の行事： ナイスハートフェスティバル・日帰り旅行等

◇ 懇談会等の実施状況

利用者・職員全体懇談会 (入所利用者・通所利用者・GH利用者)

期日	内容
令和 4 年 4 月 6 日	当年度事業計画書の説明及び意見の聴取等
令和 4 年 10 月 12 日	意見の聴取
令和 5 年 1 月 11 日	次年度事業計画書についての意見聴取等

◆ 健康管理の状況(入所・通所・GH)

◇ 利用者医療の状況

区 分	施設内医務室		入 院			通 院		
	実人員	延人員	実人員A	延人員B	平均 B/A	実人員A	延人員B	平均 B/A
内科系	9	414	9	181	20.1	2	3	1.5
外科系	17	5,012	3	58	19.3	30	53	1.8
整形外科系	0	0	1	35	35	2	8	4
耳鼻咽喉科系	7	1,033	0	0	0	10	15	1.5
眼科系	9	1,607	0	0	0	2	13	6.5
皮膚科系	16	2,565	0	0	0	1	1	1
泌尿器科系	2	30	2	18	9	2	2	1
婦人科系	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科系	0	0	0	0	0	1	9	9
神経内科系	0	0	0	0	0	2	6	3
歯科系	0	0	0	0	0	8	11	1.4
その他	19	4,629	0	0	0	0	0	0
合計	79	15,290	15	292	19.5	60	121	2

◇ 施設外医療の状況

医療機関名	延通院日数	延入院日数
山王台病院	70	56
山王台病院附属眼科・内科クリニック	13	0
山王台病院第1クリニック(アネックス)	0	38
山王台病院第2クリニック(アネックス)	15	89
土浦協同病院	0	25
県立医療大学	4	35
つくば病院	9	0
友部整形外科医院	3	0
冨田婦人科	1	0
水戸済生会病院	5	18
県立中央病院	0	31
小美玉医療センター	1	0
合計	121	292

◇ 健康診断実施状況(利用者)

期 日	人員	検 査 内 容	実施状況
令和4年9月	52名	身長、体重、視力、血圧、血液検査、尿検査 胸部レントゲン検査、心電図検査、その他	
令和4年		歯科健診、コロナ禍の為、中止。	
令和4年		秋の検診、コロナかのため、中止。	
令和5年3月	51名	腸内細菌検査(検便)	
その他		血圧測定(毎月)、体重測定(毎月)	定期的に全員に実施すると共に、必要に応じ随時実施。

◇ 健康診断実施状況(職員)

期 日	人員	検 査 内 容	実施状況
令和4年7月	76名	身長、体重、視力、聴力、腹囲、血圧、血液検査、尿検査 胸部レントゲン検査、心電図検査、 腰痛健診⇒腰部レントゲン検査(医師が必要と認めたもの対象)	腰痛健診のみ5月に施行。
令和4年11月	76名	血圧、尿検査、その他	コロナ禍の為、腰痛健診は全員実施するが、
令和5年02月～3月	73名	腰痛健診⇒腰部レントゲン検査(医師が必要と認めたもの対象) 腸内細菌検査(検便)⇒調理業務従事職員(毎月実施)	

◇ 健康保険等

健康保険等の種類	男	女	計	備 考	
国民健康保険	医療福祉受給	18	14	32	
	老人医療受給	4	7	11	
	その他	0	0	0	
社会保険等	医療福祉受給	2	4	6	
	老人医療受給	0	0	0	
	その他	0	0	0	
生活保護(医療扶助)	1	0	1		
その他	0	0	0		
計	25名	25名	50名		

◆ 給食実施状況 (入所利用者・通所利用者・GH利用者)

◇ 栄養量(一人当たり平均)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	Ca mg	脂肪 g	鉄 mg	VA μg	VB1 mg	VB2 mg	VC mg
基準	1600	63.8	677	54.5	7	785	1.02	1.19	100
実績	1547	63.2	614	46.7	8.8	602	0.89	0.88	81

◇ 摂取量(一人当たり)

穀類	芋類	魚介類	獣類肉類	卵類	乳類	豆類	野菜類	海藻類	果実類	油脂類	砂糖及び 甘味料	その他の 食品
216	32	72	59	26	93	42	315	8	47	7	6	110

◇ 給食材料費(一人当たり)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
金額	1142	907	1239	950	1077	944	1022	1031	1220	993	1053	1277	1071

◇ 食事形態別提供状況 (3月31日現在)

	主菜・副菜	常菜	軟菜	軟菜(必要に 応じて刻む)	軟菜(刻む)	ミキサー	経管栄養 (流動食)	合計
主食								
普通食		20	0	4	2	0	0	26
軟食(粥食)		0	0	2	10	3	0	15
経管栄養(流動食)		0	0	0	0	0	11	11
合計		19	0	6	12	3	11	52

◇ 提供食数

	朝食	昼食	夕食	合計
4月	1,791	2,143	1,773	5,707
5月	1,780	1,857	1,787	5,424
6月	1,616	1,950	1,598	5,164
7月	1,881	2,240	1,840	5,961
8月	1,919	2,271	1,881	6,071
9月	1,844	2,182	1,804	5,830
10月	1,863	2,202	1,814	5,879
11月	1,794	2,080	1,767	5,641
12月	1,882	2,215	1,859	5,956
1月	1,882	2,191	1,856	5,929
2月	1,680	2,001	1,658	5,339
3月	1,886	2,257	1,867	6,010
合計	21,818	25,589	21,504	68,911

◇ バイキング食の実施状況

期日	内容
	実施なし

◇ 栄養ケアマネジメントの状況(3月31日現在)

- ・療養食提供 2名(糖尿病食)
- ・栄養リスク 高リスク 1名 中リスク 19名 低リスク 32名

◇ 行事食

実施日 月 日	行事名	献立内容	備考
4 1	創立記念日	赤飯、すまし汁、マグロの刺身、ひじき煮、菜の花のお浸し、フルーツ、牛乳	
4 4	観桜会・メリー会	筍ごはん、すまし汁、鯖の西京焼き、揚げ出し豆腐、うどの酢の物、黒ゴマプリン、ジュース	
5 4	端午の節句	ちらし寿司、すまし汁、カレイの煮付け、パンプキンサラダ、フルーツ、牛乳	
6 10	メリー会	ちらし寿司、すまし汁、マグロの刺身、茶碗蒸し、ようかん、ジュース	
7 7	七夕	七夕そうめん、野菜かきあげ、舞茸とキノコのマリネ、フルーツ、牛乳	
8	メリー会	太巻き寿司、稲荷ずし、すまし汁、鶏の唐揚げ、アイスクリーム、ジュース	
23	土用の丑の日	うなぎ丼、すまし汁、中華風冷奴、アスパラの胡麻和え、漬物	
8 2	メリー会	ちらし寿司、すまし汁、天ぷら(海老・さつま芋・茄子・オクラ)、ごぼうの煮物、アイス、ジュース	
20	メリー祭	お好み焼き、稲荷ずし、チキンナゲット、フランクフルト、チーズドッグ、牛蒡の唐揚げ、サラダ、大判焼き、ポップコーン、かき氷、ドリンク	
31	防災訓練の日	カレーライス、ミニカップ麺、バナナ、牛乳	
9 2	メリー会	かやくご飯、のっぺい汁、マグロの刺身、大根の梅肉和え、プリン、ジュース	
19	敬老の日	栗おこわ、すまし汁、天ぷら(キス・舞茸・さつま芋・金平)、マカロニサラダ、漬物、ようかん	
23	秋分の日	舞茸ごはん、白菜と冬瓜のスープ、豚肉のおろし焼き、筍の土佐煮、ようかん	
10 5	運動会	幕の内弁当、けんちん汁、野菜ジュース、ムース	
14	メリー会	ご飯、けんちん汁、マグロの刺身、揚げ茄子、チキンサラダ、ゼリー、ジュース	
11 4	メリー会	ご飯、味噌汁、トンカツ、えびのサラダ、漬物、プリン、ジュース	
12 7	クリスマス会	五目おにぎり、明太スパ、マカロニグラタン、パンプキンポタージュ、ローストビーフ、エビフライ、チーズドッグ、刺身(マグロ・サーモン・甘エビ)、サーモンマリネサラダ、プ	
21	メリー会	ご飯、里芋汁、マグロの刺身、茶碗蒸し、漬物、ケーキ、ジュース	
22	冬至	ご飯、みそ汁、さんまの塩焼き、冬至南瓜、オクラと長芋の和え物	
24	クリスマス	シーフードピラフ、コンソメスープ、白身魚のパン粉焼き、ゼリー	
31	年越し	年越しそば、パン、さつま芋しるこ	
1 1	元旦	ご飯、酒粕汁、しめさば、なます、高野豆腐の煮物、栗きんとん、ゼリー	
2		お雑煮、松風焼き、煮しめ、数の子、牛乳かん	
6	メリー会	稲荷ずし、すまし汁、かき揚げ、フルーツ、ジュース	
7	七草	七草粥、みそ汁、赤魚の煮付け、がんもどきの煮物、漬物	
9	成人の日	赤飯、澄まし汁、鶏天、金平ごぼう、フルーツ	
15	小正月	小豆粥、味噌汁、肉豆腐、茶碗蒸し、もずく酢	
2 3	節分の日	太巻き寿司、すまし汁、鰯の丸干し、ポテトサラダ	
10	メリー会	ご飯、すまし汁、マグロの刺身、蓮根と南瓜のそぼろがけ、柚子大根、プリン、ジュース	
3 3	ひな祭り	ちらし寿司、すまし汁、枝豆のかき揚げ、菜の花のお浸し、ようかん	
17	メリー会	稲荷ずし、すまし汁、チキン南蛮、茶碗蒸し、切干大根の酢の物、ムース、ジュース	

◇ 消防防災関係実施状況

月	内 容	参 加 者	消防署への届出の有無
4	避難訓練、指揮訓練、通報訓練、設備器具（18:30 出火想定）	利用者、職員	有
5	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（21:00 出火想定）（コロナにより中止）	利用者、職員	有
6	避難訓練（19:10 出火想定）	利用者、職員 消防署	有
7	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（AM1:00 出火想定）	利用者、職員	有
8	非常召集（19:00 出火想定）	職員	無
9	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（20:00 出火想定）	利用者、職員	有
10	地震時の訓練、部分訓練（14:46 地震想定）	職員	有
11	総合訓練（18:50 出火想定）（コロナにより中止）	利用者、職員 消防署	有
12	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（AM6:30 出火想定）（コロナにより中止）	利用者、職員	有
1	避難訓練、指揮訓練（18:30 出火想定）（コロナにより中止）	利用者、職員	有
2	避難訓練、指揮訓練、通報訓練（AM2:00 出火想定）	利用者、職員	有
3	総合訓練（18:50 出火想定）	利用者、職員 消防署	有

◇ 委員会取り組み内容

支援検討研究委員会	①【排泄介助、食事介助マニュアル作成】未経験の新人職員にも分かりやすいマニュアルを作成。②【シーツの再検討】本当に横シーツが必要な利用者の見直し。横シーツの代わりにバスタオルを使用しないで済むようにする。③【食事形態の見直し】食事が個々の状況に合っているのか確認。④【クラブ活動の見直し】曜日や時間帯の変更はせずに内容と参加者の見直しを行う。
虐待防止委員会	①身体拘束の見直し・軽減、これって虐待？②ニヤリ・ホット・心理的安全性の定着に向けての取り組み③利用者・職員セルフチェック・スピーチロック取り組み
安全対策委員会	①年2回の利用者のリスクマップの見直し②リスクマップ分布の定義付けの実施③服薬介助の手順を作成・周知④事故につながる可能性のある実施書の内容を上げ、掲示物を作成・掲示⑤リスクマネジメントを意識した支援の共有
衛生管理委員会	①安全衛生について②熱中症について③健康診断について④食中毒対策⑤食事について⑥インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の同時流行⑦ストレスマネジメント⑧巻き肩について⑨加湿について⑩心の健康づくり計画策定⑪疲労について
給食委員会	①マニュアル見直し（業務内容・ハザップ対応）②行事食（納涼祭・クリスマス会）の確認③業務統一化（ひかり厨房業務も含む）に向けて④ネット研修（MCT・嚥下について）⑤コロナ感染時の給食業務と今後の感染時の対応について
感染症対策委員会	新型コロナウイルス感染症発生時対策、感染防止対策マニュアル見直しについて検討。

◇ 会議等の開催状況

会 議 等 名 称	開催状況	会 議 等 名 称	開催状況
職員会議	12	防火管理委員会	10
代表者会議	12	環境整備委員会	6
給食会議	12	支援検討委員会	11
ワーカー会議	1	虐待防止委員会	9
ケース会議	50	安全対策委員会	12
感染症対策委員会	2		
衛生管理委員会	11		

◇ 実習受入状況

年間実人員	2名
年間延人員	20名
受入学校	1校

学校名	期 間	日 数	人 員	延人員	備 考
リリーこども&スポーツ	3月10日～3月20日	10	2	20	

◇ 創意・工夫・改善の内容

	創意・工夫・改善の内容	創意・工夫・改善結果
事務	新型コロナ対策	職員が新型コロナウイルス蔓延防止策として、マニュアル、新型コロナウイルスに感染・濃厚接触者になった時の、出勤停止期間を見直した。また、ワクチン接種の実施や抗原検査キットを活用し、蔓延防止に努めた。外出については感染対策を講じ、発生状況等を考慮し、緩和していった。
	お掃除ロボット・コードレス掃除機の導入	業務省力化の一つとして導入した。2つを導入したことにより掃除に掛かる時間が短縮し、利用者への直接支援の時間確保に繋がった。
医務	誤薬及びご配薬防止に努める。	内服準備担当を決め、臨時薬カードやタグなどを使い、確認重視に取り組んできた結果、誤薬、ご配薬は少なくなってきたが、担当以外が手を出すことがあり、更なる確認を必要とする場面があった。引き続き、確認重視継続で誤薬・ご配薬防止に努めていく。
支援員	朝食時のリスク軽減	職員数の少ない朝食時に、安全でなおかつ適温での食事提供を実施するためにアンケートを実施した。結果、食席や配膳順の見直しを行い、以前に比べ配膳にかかる時間は軽減したが、朝食時の職員数の増加には至っておらず、依然、目が届きにくい環境があり、リスク軽減には至っていないとの意見が聞かれる為、解決課題として継続し取り組んでいく。
	洗面所に布モップを設置	A棟・B棟の洗面所に布モップを準備し、洗面時に床が濡れた際、すぐに拭けるようにする事で、足を滑らせることでの転倒の予防や床の汚れを軽減することにつながった。
	トロミサーバー導入	毎食時・水分補給時などの利用者のトロミ付き水分について、とろみをつける職員により、コップ1杯の水分量とトロミの量により、トロミの付き具合やトロミ粉が溶け切らず玉になってしまう事があった。トロミサーバーを使い、トロミ付き水分を提供することで、だれが作っても同じ粘度のトロミ付き水分を提供できるようになった。
	食堂テーブル入れ替え	今までサイドテーブルを使用しないと食事摂取が出来なかった利用者も半円で高さ調整が可能な為、個人に合わせた高さに調整することができより安全な食事提供が出来るようになった。また、以前は移動の際には持ち上げていたがキャスターも付いている為、移動が楽になり職員の腰痛軽減になった。
こだま	他事業所におけるコロナ発生時の対応及び感染対策	日中の生活介護事業所が閉鎖となり、日中もこだまにて過ごしていただく状況が長く続いた。非常事態ということもあり、普段担当したことのない職員に担当してもらうこととなったが、他の事業所職員と連携し、安全な対応ができた。利用者様にも制限のある生活が続きご不便をかけたが、こだま内でのコロナ感染を防ぐことができた。
	コロナ禍での外出支援	昨年に引き続き、施設周辺の感染状況・社会情勢を考慮して外出支援を実施した。少人数で実施し、短時間にしたり、食事は無しにしたり、制限させていただいて申し訳ない部分もあったが、感染対策を十分に行い、リスクに配慮しながら安全に実施することができた。
給食	今後の感染時の給食業務について	コロナ感染時の業務の問題点や反省点を踏まえ、準備品や心構え等今後に繋げる事が出来た。
ひかり	パーテーションの導入	集中して活動に取り組めるよう、また相談支援でも対象者に使用できるようにした。
	音響設備の導入	活動ならびに行事を行う際に活用することにより、活動の幅が広がった。
	コロナ禍での送迎対応	コロナ感染症発生時、送迎車両に同乗していたことにより濃厚接触者となった利用者ご家族に協力を得て、抗原検査を実施してもらうなどし、スムーズに送迎を行うことが出来た。またご家族にもコロナ禍の体調管理について意識してもらった。

◆短期入所事業実績

◇契約状況

	男	女	合計
障害者	7	9	16
障害児	1	1	2
計	8	10	18

◇延べ利用人員

短期入所(延利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	50	25	63	64	63	49	31	40	38	31	28	42	524
	女	98	93	110	114	142	153	141	125	131	134	128	135	1,504
	計	148	118	173	178	205	202	172	165	169	165	156	177	2,028
障害児	男	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	6
	女	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	計	5	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	11
合 計		153	118	173	180	207	202	172	165	169	165	156	179	2,039
稼働率		51.0%	38.1%	57.7%	58.1%	66.8%	67.3%	55.5%	55.0%	54.5%	53.2%	55.7%	57.7%	55.9%

◇実利用人員

短期入所(実利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	2	1	4	4	4	3	1	2	2	1	1	4	7
	女	4	3	6	6	7	7	7	5	6	6	7	5	9
	計	6	4	10	10	11	10	8	7	8	7	8	9	16
障害児	男	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2
合 計		7	4	10	11	12	10	8	7	8	7	8	10	18

◆日中一時支援事業実績

◇契約状況

契約市町村	契約利用者
14	3

◇延べ利用人員

日中一時支援(延利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	計	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
障害児	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
稼働率		0.0%	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%

◇実利用人員

日中一時支援(実利用者)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	計	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
障害児	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3

◇個人別利用実績(障害者)

町村別(50音順)になっているので、新規の場合行を挿入3

*SS:短期入所事業

*RS:日中一時支援事業

2022年度

氏名	市町村名	性別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計																
			RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS		RP	SS														
	石岡市	男	20				21																				99																
	石岡市	女																									7																
	石岡市	男																									4																
	石岡市	女																									4																
	石岡市	男																									365																
	石岡市	女																									4																
	小栗玉市	男																									9																
	小栗玉市	女																									365																
	小栗玉市	男																									248																
	小栗玉市	女																									4																
	小栗玉市	男																									365																
	小栗玉市	女																									104																
	小栗玉市	男																									11																
	小栗玉市	女																									16																
	笠間市	男																									369																
	土浦市	男																									16																
	土浦市	女																									31																
	龍ヶ崎市	男																									5																
	龍ヶ崎市	女																									31																
小計		男	81	9	0	50	98	0	0	25	93	1	0	63	142	0	0	49	153	0	0	31	14	0	1	40	124	0	0	38	131	0	0	31	134	0	0	42	134	2	1	524	483
合計			17		0	143	0	118	1	173	1	178	0	205	0	222	0	222	0	172	1	165	0	165	0	156	0	177	3	2,007													

◇個人別利用実績(障害児)

※市町村別(50音順)になっているので、新規の場合行を挿入する。

*SS:短期入所事業

*RS:日中一時支援事業

2022年度

氏名	市町村名	性別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
			RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS	RP	SS		RP
	かすみが35市	男																									6	
	土浦市	女																									5	
小計		男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合計			2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11

令和4年度 生活介護事業所ひかり実績報告書

【利用者の状況】

≪通所利用者≫

◆ 利用状況

- 1) 前年度からの継続利用者 35 名
- 2) 利用中止者 2 名
- 3) 新規利用者 0 名
- 4) 月別状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在者数	38	38	38	38	38	38	37	36	36	36	36	36	445
利用中止者	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
新規利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者	男	17	10	17	17	17	16	15	15	15	15	15	186
	女	18	11	18	17	18	17	18	17	17	17	17	202
	計	35	21	35	34	35	34	33	33	32	32	32	388
延利用人員	551	250	565	581	623	580	595	507	569	560	536	611	6,528
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

◆ 年齢別・性別構成

	20歳未満	20-25歳未満	25-30歳未満	30-35歳未満	35-40歳未満	40-45歳未満	45-50歳未満	50-55歳未満	55-60歳未満	60-65歳未満	65-70歳未満	70歳以上	計
男	0	2	1	1	3	2	1	2	1	1	3	0	17
女	0	1	0	3	3	2	1	2	4	1	1	0	18
計	0	3	1	4	6	4	2	4	5	2	4	0	35

◎平均年齢等

	最小年齢		最高年齢		平均年齢	
男	20歳	10ヶ月	68歳	1ヶ月	44歳	10ヶ月
女	20歳	4ヶ月	65歳	3ヶ月	45歳	8ヶ月
					43歳	3ヶ月

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	3級	その他	計
男	7	5	0	5	17
女	9	9	0	0	18
計	16	14	0	5	35

◆ 障害程度区分別人員

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	3	4	5	5	17
女	2	1	5	10	18
計	5	5	10	15	35

◆ 障害福祉サービス支給市町村

市町村	小美玉市	石岡市	かすみがら市	銚田市	笠間市	阿見町	土浦市	茨城町	行方市	潮来市	県外
利用者数	14	13	3	1	1	1	0	0	2	0	0

◆ 障害原因別人員

	脳性麻痺	多発性関節拘縮	頭部外傷	脳腫瘍	脳血管障害	筋ジストロフィー	小脳変性症	知的障害	その他	計
男	6	0	1	0	2	2	0	3	3	17
女	10	1	1	1	1	0	1	0	3	18
計	16	1	2	1	3	2	1	3	6	35

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	11	6	3	16	2	1	11
女	8	10	6	14	4	1	16
計	19	16	9	30	6	2	27

◆ 医療的ケアの状況

	経管栄養者	吸引実施者
男	0	0
女	1	1
計	1	1

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	16	24	17	10	10	5	6	9	2	15
一部介助	9	3	10	11	13	13	8	9	13	3
全面介助	10	8	8	14	12	17	21	17	20	17

◆ 移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
7	0	0	28	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
9	20	18	10	0

◆ 生活介護利用者延べ人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分6	212	52	223	227	249	232	242	228	258	256	244	273	2,696
区分5	165	77	164	169	186	168	165	111	134	124	122	145	1,730
区分4	66	46	67	74	76	77	75	61	73	74	67	78	834
区分3	108	75	111	111	112	103	113	107	104	106	103	115	1,268
合計	551	250	565	581	623	580	595	507	569	560	536	611	6,528

【支援の実績】

◆ 事業・行事等の実施状況

4	創立記念日 観覧会・カラオケ大会	利用者・職員懇談会	散歩会	散髪 誕生会
5	端午の節句 ゲーム大会		散歩会	散髪 誕生会
6			散歩会	散髪 誕生会
7	七夕祭		散歩会	散髪 誕生会
8	納涼祭		散歩会	散髪 誕生会
9		利用者・職員懇談会	散歩会	散髪 誕生会
10	運動会 焼芋大会		散歩会	散髪 誕生会
11			散歩会	散髪 誕生会
12	ナイスハートフェスティバル クリスマス会		散歩会	散髪 誕生会
1	新年会	利用者・職員懇談会	散歩会	散髪 誕生会
2	節分祭 ゲーム大会		散歩会	散髪 誕生会
3	雛祭り		散歩会	散髪 誕生会
その他	水質調査(5月・11月)			

◆ 消防防災関係実施状況

月	内 容	参加所	消防署への 届け出の有無
6	総合防災訓練(15:00 火災想定)	利用者、職員、 地元消防団、消防署	有
10	避難訓練(14:46 震度6レベル地震想定)	利用者、職員	有
11	コロナウイルス感染拡大により延期	利用者、職員職員 消防署	有
3	総合防災訓練(13:50 火災想定)	利用者、職員	有

* 6月、3月の総合防災訓練は、たまりりーホームと合同で実施

◆ 余暇活動の実施状況

名 称	参加人員 (内)実人員			開催状況	実施回数	備 考
	男	女	計			
散歩・日光浴	51 (10)	96 (14)	147 (24)	月4.5回	54	
制作活動	195 (15)	368 (12)	563 (27)	月6.3回	38	ちぎり絵・型押し・貼り絵・壁面制作 折り紙
レクリエーション 園芸クラブ	71 (17)	370 (19)	441 (22)	月2.4回	29	風船・もぐらたたき・ペットボトルボーリング 紙芝居・書道・ポッチャ・シャボン玉
カラオケ・音楽活動	431 (10)	543 (17)	1,004 (27)	月6.6回	79	DVD鑑賞・合唱・合奏
生産活動	1143 (7)	983 (6)	2126 (13)	月20.3回	244	フルーツキャップ
グループ活動	488 (16)	983 (17)	1471 (22)	月12回	124	入れ替え遊び・型合わせ 塗り絵・個人の興味に合わせた活動

◆ 余暇活動(料理クラブ)の実施状況

月	参加人員	実施内容	備 考
4	21名	プリンアラモード	担当者
5			コロナの為閉所
6	19名	ホットサンド	
7	24名	トルネードポテト	
8	20名	バナナクレープ	
9	19名	フラワーゼリー	
10	23名	さつま芋の茶巾絞り	
11	18名	カップケーキ	
12	20名	ミニケーキ	
1	22名	串団子	
2	19名	ホイップサンド	
3	19名	ヘビーカステラ	
計	248名		

◆ リハビリテーション実施状況

◇ 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士による訓練等

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理学療法士	回数	12	2	16	15	16	10	14	13	10	12	14	10	144
	人員	33	3	37	38	43	33	43	45	29	35	36	33	408
言語聴覚士	回数	3	0	6	2	0	0	3	0	0	0	0	0	14
	人員	5	0	5	8	2	0	0	0	0	0	0	0	20
作業療法士	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇ 実施状況

月	実施回数		対象者	参加者人員		1回当り参加人員	備考(訓練内容等)
	PTIによる			PTIによる			
4	27	12	35	266	33	7.67	座位保持訓練 起立訓練 立位保持訓練 関節可動域訓練 歩行訓練 床上動作訓練 車椅子移乗訓練 車椅子駆動訓練 補装具等装着訓練 筋力維持増強訓練
5	16	2	35	30	3	1.83	
6	19	16	35	67	37	2.97	
7	29	15	35	291	38	7.48	
8	27	16	35	293	43	7.81	
9	25	10	35	243	33	7.89	
10	26	14	35	301	43	8.60	
11	27	13	34	236	45	7.03	
12	24	10	34	283	29	9.18	
1	27	12	34	339	35	9.59	
2	25	14	34	341	36	9.67	
3	29	12	34	409	33	10.78	
計	301	146	415	3,099	408	7.85	

◇ 実施状況 <言語リハビリテーション>

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備考(訓練内容等)
	STIによる			STIによる			
4	0	3	0	0	5	1.67	嚥下状態の確認・訓練
5	17	0	0	27	0	1.59	
6	0	4	0	0	8	2.00	
7	0	2	0	0	2	1.00	
8	0	0	0	0	0	0.00	
9	0	1	0	0	3	3.00	
10	0	3	0	0	3	1.00	
11	0	0	0	0	0	0.00	
12	0	0	0	0	0	0.00	
1	0	0	0	0	0	0.00	
2	0	0	0	0	0	0.00	
3	0	0	0	0	0	0.00	
計	17	13	0	27	21	1.50	

◇ 実施状況 <作業療法>

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備考(訓練内容等)
	OTIによる			OTIによる			
4	6	0	12	27	0	4.5	グループ活動 個別余暇活動 日常生活動作訓練
5	1	0	2	2	0	2.0	
6	17	0	10	67	0	3.9	
7	23	0	14	105	0	4.6	
8	17	0	13	101	0	5.9	
9	12	0	13	58	0	4.8	
10	10	0	13	48	0	4.8	
11	5	0	10	17	0	3.4	
12	12	0	10	53	0	4.4	
1	6	0	9	27	0	4.5	
2	11	0	9	45	0	4.1	
3	7	0	11	32	0	4.6	
計	127	0	126	582	0	4.6	

◆ 入浴実施状況

◇ 通所利用者

月	実施日数	対象人員	延人員	一人当たり月平均入浴回数	一人一週当り平均入浴回数	実施日1日当りの入浴人員	清拭延人員	備考
4	17	26	184	7.1	1.7	10.8	3	
5	12	25	65	2.6	0.6	5.4	9	
6	17	26	183	7.0	1.6	10.8	0	
7	17	26	187	7.2	1.7	11.0	0	
8	18	27	202	7.5	1.8	11.2	0	
9	18	26	190	7.3	1.7	10.6	4	
10	17	25	196	7.8	1.8	11.5	0	
11	17	25	163	6.5	1.5	9.6	1	
12	18	25	194	7.8	1.8	10.8	0	
1	18	25	188	7.5	1.8	10.4	0	
2	16	25	184	7.4	1.7	11.5	1	
3	18	25	206	8.2	1.9	11.4	0	
計	203	306	2,142	7.0	1.6	10.6	0	

※計算式

- ① 一人当たり月平均入浴回数 : 入浴延人員/対象人員
 ② 一人一週当り平均入浴回数 : 一人当たり月平均入浴回数×7日/30日
 ③ 実施日一日当り入浴人員 : 入浴延人員/入浴実施日数

令和4年度 共同生活援助事業所こだま実績報告書

【利用者の状況】

◆ 利用状況

- 1) 前年度からの継続利用者 7名
- 2) 今年度退所者 0名 (死亡退所 0名)
- 3) 新規利用者 0名
- 4) 月別状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在者数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
退所者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規利用者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
延べ利用者数		210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217	2555

◆ 年齢別・性別構成

	40-45 未満	45-50 未満	50-55 未満	55-60 未満	60-65 未満	65-70 未満	70歳 以上	計
男	0	0	1	1	1	1	0	4
女	0	0	0	1	1	1	0	3
計	0	0	1	2	2	2	0	7

◆ 平均年齢等

	最小年齢		最高年齢		平均年齢	
男	54歳	5ヶ月	67歳	9ヶ月	61歳	1ヶ月
女	58歳	5ヶ月	65歳	2ヶ月	61歳	8ヶ月
					61歳 5ヶ月	

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	3級	その他	計
男	1	2	0	1	4
女		3	0	0	3
計	1	5	0	1	7

◆ 障害程度区分別人員

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	1	2	1	0	4
女	0	1	0	1	1	3
計	0	2	2	2	1	7

◆ 障害原因別人員

	脳性麻痺	脳血管障害	頸椎損傷	その他	計
男	1	1	1	1	4
女	1	1	0	1	3
計	2	2	1	2	7

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	2	2	0	0	0	0	2
女	1	2	0	2	1	0	2
計	3	4	0	2	1	0	4

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	3	6	6	4	3	5	4	4	2	4
一部介助	4	1	1	1	4	2	3	2	4	2
全面介助	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1

◆ 移動手段の状況

	歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
	2	0	0	5	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
3	2	5	0	0

【支援の状況】

◆ 事業・行事等の実施状況

○外出支援

月	日	行先・参加行事	参加者数
R4			
4	23	小川アピオス文化センター	1名
6	11	山王台病院(通院)	1名
7	8	小美玉市役所玉里支所	1名
8	6	三洋堂書店、カワチ	2名
8	7	ウエルサイト石岡	2名
8	13	ウエルサイト石岡	2名
	29	共立病院(健康診断)	2名
9	3	山王台病院(通院)	1名
9	10	メガネスーパー石岡店	1名
	10	共立病院(健康診断)	1名
11	9	土浦イオン	4名
11	26	山王台病院(通院)	1名
12	3	小美玉市役所玉里支所	1名
2	25	山王台病院(通院)	1名
3	29	土浦イオン	3名

●の行先・行事に関しては、他事業所と合同実施・参加

◆ 面会・外出・外泊の状況

氏名	面会回数	外出 (通院含む)	外泊	
			回数	日数
	11	7	0	
	16	3	0	
	3	3	0	
	77	4	0	
	24	6	0	
	3	5	0	
	12	4	0	

◆ 消防防災関係実施状況

月	内 容	参加者	消防署への 届出の有無
4	避難訓練、設備器具 (18:00 出火想定)	利用者、職員	有
6	避難訓練 (1:00 出火想定)	利用者、職員 地元消防団、消防署	有
8	避難訓練、設備器具 (14:46 地震想定)	利用者、職員	有
10	避難訓練、設備器具 (23:00 出火想定)	利用者、職員	有
2	避難訓練、設備器具 (24:00 地震想定)	利用者、職員	有
3	総合訓練 (AM7:30 出火想定)	利用者、職員 地元消防団、消防署	有

*6月、11月の総合訓練は他の事業所と合同で実施

◆ 会議の開催状況

名称	参加者	開催状況
生活に関する話し合い	利用者・職員	1回

令和4年度 相談支援事業実績報告書

社会福祉法人敬山会 相談支援事業所 たまりメリーホーム

1 特定及び障害児相談支援事業

	障害種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計 画 作 成	身体障害者	2	0	2	2	5	2	2	0	2	1	8	3	29
	知的障害者	4	3	4	2	2	3	5	7	4	3	4	6	47
	精神障害者	0	1	3	2	0	1	1	4	0	0	3	2	17
	発達障害者	6	0	0	1	2	1	1	1	1	1	2	2	18
	障害児	9	3	2	1	7	0	3	2	5	3	3	3	41
	難病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
	月合計	21	7	11	8	16	7	12	15	13	9	20	16	155
モ ニ タ リ ン グ	身体障害者	5	5	4	14	7	8	8	6	6	10	6	7	86
	知的障害者	11	14	14	12	8	13	5	6	10	9	6	12	120
	精神障害者	5	2	2	9	5	2	3	3	2	2	2	0	37
	発達障害者	0	2	6	2	3	9	1	2	4	3	2	3	37
	障害児	9	10	10	10	8	6	4	2	1	6	1	5	72
	難病	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	月合計	30	34	37	48	31	38	21	19	23	30	17	28	356
総計	51	41	48	56	47	45	33	34	36	39	37	44	511	

2 小美玉市委託相談支援事業

1 相談受付等の状況

(1) 相談件数及び相談方法

相談件数 (延べ)	相談方法								備考
	来所	電話	訪問	見学同行	会議	関係機関	電子メール	その他	
200	29	51	38	17	11	39	9	6	

(2) 相談内容

相談内容(延べ)	件数	備考
福祉サービスの利用等に関する支援	59	
不安の解消・情緒安定に関する支援	34	
健康・医療に関する支援	27	
家族関係・人間関係に関する支援	23	
障害や病状の理解に関する支援	9	
家計・経済に関する支援	4	
生活技能に関する支援	2	
社会参加・余暇活動に関する支援	4	
就労に関する支援	5	
権利擁護に関する支援	4	
保育・教育に関する支援	23	
その他	6	
合計	200	

◆ 相談・事故・苦情等の状況(各事業共通)

◇ 相談受付状況(相談支援事業による相談を除く)

年 月 日	相談の内容	相談方法				住 所	備 考
		来所	電話	メール	他		
04.04.15	短期入所利用について	○				土浦市	
04.07.28	グループホーム利用について	○	○			土浦市	
04.10.03	生活介護利用について	○	○			小美玉市	
04.10.12	生活介護利用について	○	○			小美玉市	
05.01.17	施設入所について		○			小美玉市	
計	<相談件数 5 件 >	2	5	0	0		

◇ 事故発生状況

発生場所	発生状況	件数	発生原因
<メリーホーム>			
居室	転倒	1	利用者の不注意によるもの
	転倒	1	職員・利用者の不注意によるもの
	転倒	1	環境要因によるもの
	転落	2	利用者の不注意によるもの
	転落	2	職員の不注意によるもの
	誤嚥	2	職員・利用者の不注意によるもの
	胃ろうチューブ抜去	1	職員の不注意によるもの
	鼻腔チューブ抜去	3	職員の不注意によるもの
	怪我	2	職員の不注意によるもの
	物品紛失	1	職員の不注意によるもの
トイレ	転倒	1	職員の不注意によるもの
	転落	1	利用者の不注意によるもの
食堂	転倒	1	職員・利用者の不注意によるもの
	転落	1	利用者の不注意によるもの
	誤嚥	2	職員・利用者の不注意によるもの
	誤嚥	1	職員の不注意によるもの
	服薬忘れ	1	職員の不注意によるもの
廊下	怪我	1	職員の不注意によるもの
	転倒	2	職員の不注意によるもの
浴室・脱衣場	転落	1	職員の不注意によるもの
	怪我	1	職員の不注意によるもの
玄関	転倒	1	職員の不注意・環境によるもの
	異食	1	職員の不注意・環境によるもの
	離脱	1	職員・利用者の不注意によるもの
場所不明	怪我	2	職員の不注意によるもの
	骨折	1	職員の不注意によるもの
<ひかり>			
トイレ	転倒	3	利用者の不注意によるもの
ホール	服薬忘れ	1	職員の不注意によるもの
	転倒	2	職員の不注意によるもの
	転倒	2	利用者の不注意によるもの
	転落	1	職員の不注意によるもの
	怪我	1	職員・利用者の不注意によるもの
	怪我	1	利用者の不注意によるもの
<こだま>			
居室	転落	1	利用者の不注意によるもの
48件			

◇ 苦情・意見等受付状況

年 月 日	申出者	苦情内容	解決	未解決	その他
04.04.06	利用者	サービスの内容について	○		
04.04.06	利用者	給食会議の在り方について	○		
04.04.06	利用者	サービスの内容について	○		
04.04.06	利用者	職員の態度について	○		
04.06.28	利用者	職員の態度について	○		
04.06.29	短期入所利用者	職員の態度について	○		短期入所
04.07.28	利用者家族	説明・情報不足	○		
04.08.18	利用者	職員の態度について	○		
04.08.18	利用者	職員の態度について	○		
04.10.12	利用者	サービスの内容について	○		
04.10.12	利用者	職員の態度について	○		
04.10.12	利用者	職員の態度について	○		
04.12.27	短期入所利用者	職員の態度について	○		短期入所
04.12.27	短期入所利用者	職員の態度について	○		短期入所
05.01.24	利用者	サービスの内容について	○		
05.01.24	利用者	サービスの内容について	○		
05.01.24	利用者	サービスの内容について	○		
05.02.03	こだま利用者	サービスの内容について	○		こだま
05.01.11	利用者	説明・情報不足	○		
合 計		19 件			

◇ 要望・相談等受付状況

年月日	申出者	意見・要望内容	解決	未解決	その他
04.04.06	利用者	サービスの内容について	○		
04.04.06	利用者	サービスの内容について	○		
04.04.06	利用者	サービスの内容について	○		
04.04.06	利用者	サービスの内容について	○		
04.08.18	利用者	サービスの内容について	○		
04.10.12	利用者	サービスの内容について	○		
04.10.12	利用者	コロナ禍の外出について	○		
05.01.11	利用者	テイクアウトについて	○		
05.01.11	こだま利用者	コロナ禍の外出について	○		こだま
合計		9件			

◇ 地域における公益的取組み

活動内容	期日	概要等
学校交流事業 玉里小学校運動会参加 玉里東小学校交流会		新型コロナウイルス感染防止のため中止
緊急一時保護事業	令和04年07月05日～令和04年07月27日	2022.7.5 15:00 小美玉市こども課 関様より連絡あり。石川県金沢市に住んでいたが、息子からの経済的虐待があり、もうお金を渡さないと言ったら、命を脅かす言葉が聞かれた。そのため小美玉市羽鳥在住の娘が、6月30日に連れてきた。羽鳥の住所は息子が知っており、危険であるため、娘が仕事を休んで、2人でビジネスホテルに宿泊している。警察にも相談したが、身内なので被害届は出さないことにした。そのため警察では動けないので、小美玉市に相談に行った。DVのシェルターは65歳上は受けられないとのことで、利用できるサービスがない。娘は百里に務めており、自衛隊の官舎で生活できるように1週間で調整するとのこと。一人でホテルにいるのは心配であり、娘もこれ以上仕事を休むことが出来ないため、その間緊急一時で受け入れることとなる。
	令和04年10月07日～令和04年10月12日	15:00小美玉市障害福祉課浅尾氏より連絡がある。鬱病、統合失調症があり、最近不安が強く、特に夜間に幻覚、幻聴が見られるようになっていく。数日前は、自宅に泥棒が複数人入ったと警察に連絡した。母親と2人暮らしだったが、母親は施設入所し、現在は1人暮らしである。10月12日に通院することになっているが、夜間1人では心配であるため、保護することとなる。
	令和04年10月14日～令和04年10月19日	14時頃に小美玉市障害福祉課浅尾氏と小美玉市社会福祉協議会平沢氏が来所され、緊急一時の相談を受ける。現在グループホームに入所しているが、20時～7時と11時～16時は職員が在中していない。本人尿の出が悪くなり、10/9に田中クリニック受診し内服薬処方になるが、10/10夜間に独歩で移動中に転倒し翌朝までそのまま居たとの事。10/10に山王台病院通院し、尿閉の診断でカテーテル挿入する。ADLも全介助になっており現在のグループホームでは対応できないと申し出があったとの事。その為、新しいグループホームを探し、10/19にグループホームふわわ水戸三湯町に入所が決まった。入所日まで現在のグループホームでは対応が難しいとの事で、緊急一時利用の運びとなる。
地域行事参加事業 小美玉市福祉まつり		新型コロナウイルス感染防止のため中止
ナイスハートフェスティバル	令和04年12月03日	新型コロナウイルス感染者がいたため中止
その他		
地域清掃活動	令和04年06月22日 令和05年02月22日	職員4名、利用者6名参加し、施設周辺の清掃活動実施。 職員5名、利用者4名参加し、施設周辺の清掃活動実施。
福祉車両貸出事業	実施回数 41回	実利用者数 6名 延べ利用者数 41名

◆ ボランティア・見学等の実施状況

団体名又は個人名	回数	人員	延人員	内容等
新型コロナウイルス感染防止のため中止				

◆ 広報誌(おおぞら)発行

発行日	内容
令和04年11月30日	○令和4年度運動会○外出支援・行事等の風景○ひかりだより○令和3年度苦情、事故報告○新人紹介○お礼○決算報告○行事予定○あとがき

◆ 運営管理関係

◇ 研修関係＜施設内研修＞

期日	研修名	研修内容	講師	対象者または参加者
4月20日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
5月18日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
6月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
7月20日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
8月17日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
8月17日	緊急時の対応について	急変時の発見から救急重要諸法の対応を学ぶと共に心肺蘇生法とAEDの使用方法の確認をする	看護師・研修委員担当者	全職員
9月21日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
10月19日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
11月16日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
11月16日	感染症対策について	感染症が発生した場合の対応を理解する。(感染予防具の着用方法等)	佐藤、吉田ゆ	全職員
12月21日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
1月18日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
1月～2月	救急法	正しい心肺蘇生法の手技を確認(心臓マッサージ・AED)	研修委員担当者	生活支援員
2月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
2月22日	権利擁護・虐待防止研修	権利擁護・虐待防止について	吉田 隆行	全職員
3月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
3月22日	R4年度委員会報告会	各委員会の今年度のまとめ		全職員

◆ 運営管理関係

◇ 研修関係<施設外研修>

令和4年度

期日	主催	研修名	研修内容	研修参加者名	人数
4月5日	エイデル研究所	E式合同受講者研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「人事考課の正しい理解」 ・講義「人事考課評価の基本」 ・実習「評価個人ワーク・評価グループワーク」 ・講義「育成面接のポイント」 ・実習「人事考課面接演習」 	生活支援員	3
4月21日	茨城県社会福祉協議会	新任職員研修	<p>【録画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉制度の動向1～社会福祉とは～」 ・「福祉制度の動向2～社会福祉とは～」 ・「対人援助職として必要なこと」 ・「これからの福祉職としての視点」 <p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習「記録の書き方」 	生活支援員	1
5月16日	茨城県心身障害者福祉協会	基礎知識アップ研修	<p>【YouTube】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設で社会人として福祉のプロとして求められる人材 ・私たちが大切にしないといけないこと～人権について～ ・障害福祉の基礎知識「記録のポイント」「障害福祉の法律・制度・仕組みの概要」「監査資料を基に施設に求められる基礎を把握」 ・障害者の生活を支える仕組み ・先輩からのメッセージ ・幸せに働くために ・アラス受信の考え方 <p>【Zoom】</p> <p>講義・演習「接遇の基本を理解する」</p> <p>①接遇の基本～第一印象の重要性～</p> <p>②挨拶を聞く～表情・お辞儀・物の受け～</p> <p>③言葉遣い～敬語の基本/クッション言葉の活用</p> <p>④電話対応・来客対応の基本</p> <p>⑤機内コミュニケーション/SNSの考え方・使い方</p>	生活支援員	2
5月17日	茨城県社会福祉協議会	接遇マナー研修	<p>【Zoom】</p> <p>講義・演習「接遇の基本を理解する」</p> <p>①接遇の基本～第一印象の重要性～</p> <p>②挨拶を聞く～表情・お辞儀・物の受け～</p> <p>③言葉遣い～敬語の基本/クッション言葉の活用</p> <p>④電話対応・来客対応の基本</p> <p>⑤機内コミュニケーション/SNSの考え方・使い方</p>	栄養士兼調理員	1
5月18日～6月30日	茨城県社会福祉協議会	会計基礎研修	<p>【録画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉法人会社の基本的な知識」 ・「社会福祉法人会社の基本的管理」 ・「貸借対照表、貸収支計算書・事業活動計算書の解説」 ・「経理業務の解説と会計処理の流れ」 	理学療法士	1
5月19日	茨城県社会福祉協議会	新任職員研修	<p>【録画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉制度の動向1～社会福祉とは～」 ・「福祉制度の動向2～社会福祉とは～」 ・「対人援助職として必要なこと」 ・「これからの福祉職としての視点」 <p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習「記録の書き方」 	生活支援員	1
5月24日	茨城県福祉部障害福祉課	障害福祉サービス事業所等管理者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業所等運営における留意事項 ・新型コロナウイルス感染症に係る各種制度について ・施設従事者による虐待の防止について 	副施設長 理学療法士	2

6月6日	茨城県社会福祉協議会	伝える技術研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の基本を学ぶ ・ビジネス文書の基礎知識 ・事前課題の回答と解説 ・文書作成に活かす文章力 ・わかりやすいやささと読みやすさ ・文書作成の4つのステップ ・報告書作成のポイント ・ビジネス文書の慣用語彙 ・メモ書きのルール ・メール作成のポイント 	サービス管理責任者	2
6月4日	一般社団法人 消防試験研究センター	危険物取扱者兩種試験	<p>(試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険物に関する法令 ・燃焼及び消火に関する基礎知識 ・危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 	生活支援員	2
6月7日	茨城県社会福祉協議会	虐待をしないためのスピーチロック防止研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックとは、虐待行為と3つのロック ・スピーチロックが起きやすい現状 ・言葉遣い力を養う(言葉遣いと非言語表現・放送禁止用語紹介) ・演習「非言語表現の自己診断シート」 ・スピーチロックの2軸(無意識と行動) ・グループ演習「スピーチロックの真の原因とは」 ・スピーチロックの4つの原因はヒューマンエラー ・ヒューマンエラーの定義 ・スピーチロック防止4つの視点 ・アセスメント(評価基準)、エラールール ・演習「ことばの改善」 ・まとめ 7つの行動要諦ポイント 	生活支援員 調理員	2
6月13日	全国社会福祉法人 経営者協議会	介護外国人人材セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用での疑問・不安・対応・報告とペネルディスプレイセッション ①社会福祉法人労働会 ②社会福祉法人三光会 ③社会福祉法人常盤会 ・入職後研修・実務研修 ・アウトプット日本語コミュニケーションQ&Aレベル1 「実務研修通信講座へカスマイズで効果を上げる方法～」 	サービス管理責任者	1
6月14日	茨城県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	<p>【Zoom】</p> <p>「仕組みで管理すべき視察のリスク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの基礎 ・基本的な考え方(リスクとは)、福祉現場におけるリスク体系 ・リスクマネジメントの効果的な方・事例で考える①(高齢者施設) ・リーダー職員が行う事・事故発生時のメカニズム・危険予知トレーニング ・ヒヤリハット報告の真実性を高めるために ・リスクを見る眼を養う・リスク評価の心理的性 ・ヒューマンエラー対策をどう進めるか・契約時の留意点 ・事例で考える②(障害分野)・BCPを策定するためのユング ・BCPの真実性を高めるためのポイント・リスクマップづくり ・リスクマネジメントの構築(木山モデル) 	生活支援員	2
6月15日 6月20日	茨城県介護福祉士会	たん吸引研修(特定のもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・重症障害児・若等の地域生活等に関する講義 ・経管吸引等と重篤障害児・若等の障害及び支援に関する講義 ・緊急時の対応及び応急処置に関する講義 ・実践・講義習得試験 ・経管吸引等に関する演習 	生活支援員	3

6月15日	茨城県社会福祉協議会	チームリーダー研修	<p>【Zoom】 講義・演習 「コロナ禍だから必要なリーダーシップ」 ・リーダーに期待される事とは何か？ ・日頃の振り返り ・自分のチームの現状を確認する ・リーダーの基本的な本質 ・リーダーシップとは何か？ ・リーダーシップとチーム ・心理的安全性とチーム ・チームビルディングとは ・自分のチームの未来像を描く ・リーダーシップ発揮に向けて</p>	生活支援員	1
6月23日	茨城県社会福祉協議会	はじめての外国人介護人材採用	<p>【Zoom】 「2025年に向けての介護人材不足」 「外国人介護職員は見た」 「介護に関する在留資格」 「採用の際に留意すべきポイント」 「採用ことの特性」 「コミュニケーションのポイント」</p>	生活支援員	1
7月4日	茨城県社会福祉協議会	メンタルタフネス研修	<p>【Zoom】 「外国人就労のためのコミュニケーション」 ①自分のメンタルの現在地 ②ストレスとレジリエンス（還元力） ③他者援助を通じた自己実現 ④コミュニケーション演習 ⑤バーニアウト（燃え尽き症候群）にならないために ⑥折れない心の条件</p>	生活支援員	2
7月7日～8日	茨城県労働基準協会連合会	第2種衛生管理者免許試験受験準備講習会	<ul style="list-style-type: none"> 法令（労働基準法） 労働生理・救急処置 労働衛生 法令（労働安全衛生法） 	看護師 理学療法士	2
7月11日	茨城県福祉部障害福祉課 高次脳機能障害支援センター	高次脳機能障害者支援基礎講座	<p>【動画配信】 「高次脳機能障害支援センターの紹介」 「高次脳機能障害とはどんな障害か」 「高次脳機能障害支援に関わる福祉サービスと制度について知る」 「高次脳機能障害者の就労支援について」 「高次脳機能障害支援ツールの紹介」</p>	生活支援員	2
7月12日	茨城県社会福祉協議会	業務改善研修	<p>【Zoom】 「いま、福祉現場に求められる業務改善の考え方」 ・業務改善が求められる背景 ・事業経営者に求められる視点 ・業務改善を行う上で押さえておくべきポイント ・まずまず3つの改善行動！ ・業務改善に向けたステップ ・事例紹介 ・業務改善を行うコツ ・継続的に業務改善を行う上でリーダーがすべきこと ・明日から業務改善を行うこと</p>	生活支援員	2

7月20日	茨城県社会福祉協議会	中堅職員研修	<p>【Zoom】</p> <p>「中堅職員に期待されること」</p> <p>①組織における中堅職員の立場と役割</p> <p>②日常行動の振り返りと業務改善の視点と行動・身近な課題をどう組織として共有するか</p> <p>③仕事の課題解決のためのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい日本語を使う ・自分の謙を知る ・伝えるコミュニケーション <p>④人材育成の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの今だから必要なOJT ・後継指導の進め方 <p>⑤人生100年時代の社会人基礎力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力から ・明日からはじめる事 	生活支援員	2
7月28日～8月30日	茨城県社会福祉協議会	クレーム対応研修	<p>【録画配信】</p> <p>「クレームを感謝に変える！」</p> <p>①クレームへの心がまえ</p> <p>②クレーム対応の実際</p> <p>③クレーム対応の際の聞き方</p> <p>④クレーム対応と話す能力</p> <p>⑤対応が困難な「ハードクレーム」の知識</p> <p>⑥組織対応力を磨くために</p> <p>【Zoom】</p> <p>講義・演習</p> <p>アイスクラスセッション「クレームの現状把握」</p> <p>ロールプレイング「クレーム対応の実際」</p>	生活支援員	1
8月9日	茨城県社会福祉協議会	コーチング研修	<p>【Zoom】</p> <p>「人を育てる！コーチング」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの役割とは？ ・リーダーに必要な「育成力」 ・指導の基本ステップとは ・相手の心理を考えながらにアプローチする ・コーチングとは何か ・人間成長のメカニズムを知る ・リーダーに求められる能力 ・部下・後継の困りごとを聞く ・質問の種類とテクニック ・リーダーにとって必要なセルフマネジメント ・困ったスタッフとの話し方 ・信頼されるリーダーになるために 	サービス管理責任者 生活支援員	2
8月23日	全国社会福祉法人経営者協議会	主任/係長講座	<p>【Zoom】</p> <p>基調説明「社会福祉法人制度改革と今後の法人経営」</p> <p><構成員>福祉施設で働く職員のためのセルフリーダーシップ「1つの習熟」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「主体的である」 ②「迷わずに思い描くことから始める」 ③「最優先事項を優先する」 ④「Win-winを考える」 ⑤「まず理解に徹し、そして理解される」 ⑥「シナジーを創り出す」 ⑦「習を研ぐ」 	理学療法士 生活支援員	2

8月23日	茨城県社会福祉協議会	相談援助業務担当者研修	<p>講義・演習 「炊入援助チームのための相談力入門」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくある相談の誤解・勘違い ・相談の基礎を学ぶ ・相談の3つのステップ ・初回面接時の注意点を相談者の視点から立て方 ・相談者を理解する技術(理解・信頼関係・観察) ・心を支えるコミュニケーション(共感) ・相談を「廣出」する技術 ・ニーズとヴォオケーションの区別が支援の質を左右する 	生活支援員	1
8月24日～25日	茨城県心身障害者福祉協会	茨城県サービス管理責任者等研修	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの方法 ・個別支援会議の運営方法 ・サービス提供職員への助言指導 ・実地教育としての事例社会の進め方 ・サービス担当者会議と協議会の活用についてのまとめ 	生活支援員	1
8月26日	茨城県障害者相談支援事業所 マネージメント協会	相談支援事業所の複数事業所 協働モデル研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制の例示 ・機能強化型サービス利用支援費(Ⅰ) ・仮設シミュレーション ・協働型のメリット ・体制づくりのポイント 	相談支援専門員	1
8月26日	茨城県社会福祉協議会	看護師職員研修	<p>【Zoom】</p> <p>「福祉における感染対策を実践するために看護職として必要なこと」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 感染症対策の重要性と考え方について ② 感染予防策の重要性 ③ 施設における感染管理体制(職業感染対策含む) ④ 施設における感染発生時の対応 ⑤ 経路別予防策(樓梯・飛沫・空気感染対策) ⑥ 感染性胃腸炎と新型コロナウイルスの感染対策の実践 	看護師	1
8月31日	茨城県社会福祉法人 経営者協議会	経営協セミナー	<p>講義</p> <p>「徹底解説！経営基礎を強くする経営協メニュー」</p>	生活支援員	1
9月7日	茨城県心身障害者福祉協会	茨城県サービス管理責任者等研修	<p>講義「障害者福祉監察の最新の動向」</p> <p>演習「事業所としての自己検証」</p> <p>演習「サービス管理責任者としての自己検証」</p> <p>演習「関係機関との連携」</p>	生活支援員	1
9月8日	茨城県社会福祉協議会	福祉現場における事業継続計画(BCP) 作成研修	<p>【Zoom】</p> <p>講義・演習「福祉事業所における事業継続計画で目指すもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場における事業継続計画(BCP)とは？ ・防災計画とBCPの違い ・危機管理におけるリスク想定の方 ・災害時の福祉の基本 ・「BCP策定のプロセス」 ・策定前の準備とBCPの骨格づくり ・事業所の流れと危機管理体制のイメージ ・「具体的なBCPの策定項目」 ・ライフラインへの対策をどう進めるか ・安否確認と帰宅誘導計画 ・実行性の高いマニュアルづくり ・「風水害と新型コロナウイルス感染症対策」 ・風水害対策 ・感染症リスクの考え方 ・新型コロナウイルス感染症対策(新型コロナウイルス同等の想定) ・BCPまとめ 	サービス管理責任者 相談支援専門員	2

9月28日	茨城県社会福祉協議会	チームリーダー研修	<p>講義・演習</p> <p>「コロナ禍だから必要なリーダーシップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに期待されることとは何か？ ・日常の振り返り ・自分のチームの現状を確認する ・リーダーシップとは何か？ ・心理的安全性とチーム ・チームビルディングとは ・自分のチームの未来像を描く ・リーダーシップ発揮に向けて 	生活支援員	1
9月30日	初めてのDO-CUPシート書き方研修	(株)エーデル研究所	<p>【Zoom】</p> <p>DO-CUPシートの意味や使い方の理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を記入する際に確認すべき項目 ・具体的な目標の立て方 ・観察について具体的な目標の立て方 	生活支援員	2
10月3日～11月25日	茨城県社会福祉協議会	ハラズメント研修	<p>【録画配信】</p> <p>「職場におけるハラズメントを防止するために」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 職場におけるハラズメントの現状とその影響 ② パワーハラズメントとは ③ セクシャルハラズメントとは ④ パワハラと誤解されないための関わり方 	生活支援員	2
10月6日	茨城県社会福祉協議会	レクリエーション基礎研修会	<p>講義・演習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「心のリハビリ・レクリエーション（心が元気になる経験をしてもらうためのレク）」の体験的理解 ② 「心のリハ・レクの実践力アップ」 ③ 「履かおしやべりレクリエーション（レクを上手に使うことによって利用者が主人公のおしやべりを深める）」の体験的理解 	生活支援員	1
10月12日	茨城県社会福祉協議会	虐待をしないためのスピーチロック防止研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックとは、虐待行為と3つのロック ・スピーチロックが起きやすい状況 ・言葉表現力を養う（言葉表現と非言語表現・放送禁止用語紹介） ・演習「非言語表現」 ・演習「言語表現の自己診断シート」 ・スピーチロックの2軸（無意識と行動） ・グループ演習「スピーチロックになり得る言葉」 ・起こり得る4つの原因とは ・スピーチロックの真の原因はヒューマンエラー ・ヒューマンエラーの種類 ・スピーチロック防止 4つの視点 ・アセスメント（評価基準）、エラールール <p>演習「ことばの改善」</p> <p>演習「ケーススタディ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 7つの行動変容ポイント 	生活支援員	2
10月13日	茨城県社会福祉協議会	レクリエーション基礎研修会	<p>講義・演習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「心のリハビリ・レクリエーション（心が元気になる経験をしてもらうためのレク）」の体験的理解 ② 「心のリハ・レクの実践力アップ」 ③ 「履かおしやべりレクリエーション（レクを上手に使うことによって利用者が主人公のおしやべりを深める）」の体験的理解 	生活支援員	1
10月20日	茨城県公安委員会	安全運転管理者講習	<ul style="list-style-type: none"> ・法令・道路交通の現状と交通事故の実態 ・運転管理 ・運転指導 ・安全運転の基本 ・交通安全教育映画 	サービス管理責任者	1

10月24日	心身障害児総合医療療育センター	接触・嚔下指導講習会	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚔下（嚔下嚔起とその発達） ・嚔下嚔音・嚔喉の病態と対応 「嚔下時の口唇と嚔喉」 「発達に伴う嚔下嚔起」 「嚔音・発音の嚔喉の嚔起」 「症状・嚔音・嚔起」 <p>講師：食事指導の留意点～作業療法士の立場から～ 実技：嚔音介助</p>	生活支援員	1
10月26日	茨城県社会福祉協議会	中堅職員研修	<p>【Zoom】</p> <p>講義・演習「中堅職員に期待されること」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①組織における中堅職員の立場と役割 ②日常行動の振り返りと業務改善の視点と行動・身近な課題をどう組織として共有するか ③嚔喉の課題解決のためのコミュニケーション ④人材育成の方法 ⑤人生100年時代の社会人基礎力 	生活支援員 調理員	2
11月2日	茨城県社会福祉協議会	看護師職員研修	<p>【Zoom】</p> <p>施設における感染対策を実践するために看護師として必要なこと」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①感染対策の重要性と考え方について ②嚔喉予防策の重要性 ③施設における感染管理体制（嚔喉感染対策含む） ④嚔喉症発症時の対応 ⑤嚔喉予防策（嚔喉・飛沫・空気感染対策） ⑥感染性胃腸炎と新型コロナウイルスの感染対策の実態 	看護師	1
11月7日	全国社会福祉法人経営者協議会	マネジメント講座	<p>【動画講義】</p> <p>標を達成する仕事の準備方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①チームで目標解決スキル ②嚔喉方向向上のためのコミュニケーション ③行動計画の策定 <p>【Zoom】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学習内容の振り返り ②目標設定の振り返り・実践の共有 ③嚔喉実践・総括 ④ありたいミドルマネジメント者へも成長に向けて ⑤今後のアクションプランの検討 	生活支援員	1
11月8日	茨城県社会福祉協議会	広報研修	<p>【Zoom】</p> <p>講義・演習「デジタル時代、コロナ禍の広報」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務変化を現状認識しよう ・何を、誰に、どのように広報するのか？ ・広報で成功している事例 ・プランニングをする方法 ・選ばれる理由をつくる方法 	サービス管理責任者 理学療法士	2
11月10日	茨城県社会福祉協議会	レクリエーションステップアップ研修	<p>講義・演習</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「心のリハビリ・レクリエーション（心が元気になる経験をしてもらうためのレク）」の体験的理解及び共有や活用「リーダー」の役割的理解 ②「心のリハ・レクの共有と活用の進め方」 ③「温かいしゃべりレクリエーション（レクを上手に使うに役立てる利用者が主人公のおしゃべりを促める）」の体験的理解及び共有や活用の「リーダー」の役割の理解 ④「温かいしゃべりレクの活用と進め方」 	生活支援員	1

11月14日～12月4日	全国障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)	「個別支援計画」作成および 運用に関する研修会	<p>【配信経路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本研修会の意向するところ～本人中心の支援計画 個別支援計画作成の現状と課題の整理 障害のある人の意思決定とその支援 ニーズ構造の理解と個別支援計画 <p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズ整理シート 個別支援計画の作成と構想 	生活支援員	1
11月11日～1月6日	茨城県社会福祉協議会	労務管理とコンプライアンス研修	<p>【録画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①労務管理、コンプライアンスが必要な理由 ②労務ルールの原則と労働時間について ③ハラスメント ④労働トラブルを防ぐ職場トラブル ⑤「実際にあった」労働トラブル事例集 	サービス管理責任者	1
11月30日	茨城県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仕組みで管理すべき現場のリスク」 リスクマネジメントの基礎 基本的な考え方（リスク体系） 福祉現場におけるリスク体系 リスクマネジメントの効果的な進め方 事例で考える①（高齢者施設での事故） リーダー職員のメカニズム 事故発生を知トレット 危険予知 ヒヤリハット報告の有効性を高めるために リスクを見る眼を養う リスク評価の心理特性 ヒューマンエラー対策をどう進めるか 契約時の留意点 事例で考える②（障害分野での事故） BCPを策定するためのユウ BCPの実効性を高めるためのポイント リスクマップづくり リスクマネジメントの構築（ホ山モデル） 	生活支援員	1
12月1日	茨城県社会福祉協議会	アンガーマネジメント研修	<p>【Zoom】</p> <p>講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> アンガーマネジメントの理解 アンガーマネジメントとは 怒りとは（自分の感情の癖を知ろう） アンガーマネジメント3つのコントロール（衝動・思考・行動） 怒りの点検化、許せる境界線 「アンガーマネジメントの有効活用」 価値観の共有化ワーク 「より良いコミュニケーションのために」 上手に伝える（叱る）ことを再定義 NGワード、NG態度とか 	生活支援員	2
12月5日	茨城県社会福祉協議会	メンタルタフネス研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「対人援助職のためのコミュニケーション」 ①自分のメンタルの強弱 ②ストレスとレジリエンス（復元力） ③他責援助を避けた自己ケア ④コミュニケーション復習 ⑤バーンアウト（燃え尽き症候群）にならないために ⑥折れない心の条件 	生活支援員	2

12月5日	茨城県心身障害者福祉協会	茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修	【YouTube】 最近の虐待に対する報道や事例について (行政説明) 「虐待防止の理解・現状と課題」 「障害者虐待防止・権利擁護について」 「虐待を防ぐために支援者に来られる考え方」 「権利擁護・虐待防止について」 「施設・事業所における虐待防止の体制整備について(事例発表)」	サービス管理責任者 生活支援員	2
12月9日・11日	茨城県介護福祉士会	たん咬引研修(特定のもの)	・重度障害児・若等の地域生活等に関する講義 ・喀痰吸引等が必要とする重症障害児・若等の障害及び支援に関する講義 ・緊急時の対応及び危機防止に関する講義 ・試験・講義習得試験 ・喀痰吸引等に関する演習	生活支援員	2
12月13日	茨城県社会福祉協議会	記録の書き方研修	【Zoom】 講義・演習 「ゼロから学ぶ対人援助職の『記録』」 ・対人援助と記録 ・なぜ記録を書くのか ・誰の為に記録を書くのか ・何をどのように記録するのか ・記録を取り巻く状況(電子化、情報開示、訴訟等) ・記録を読む ・記録で支援の質を高める ・良い記録/悪い記録 ・記録の書き方演習①「記録にダメ出ししてみる」 ・記録の着眼点 ・記録の書き方演習②「実際に記録を書いてみる」等	生活支援員	2
1月18日	茨城県社会福祉協議会	自己肯定感を高める研修	【Zoom】 講義・演習 「自分を認めよう!より支援につながる『自己肯定感(セルフエスティーム)』」 基礎講座 ①自己肯定感とは? ②人生の土台となる絶対的自己肯定感をつくるために ③④⑤まず自分が幸せになろう	生活支援員	1
1月20日	茨城県茨城労働局	公正採用等入権啓発研修会	講演「同和問題のいまを考える」	副施設長 理学療法士	2
1月26日	茨城県社会福祉協議会	中堅職員研修	【Zoom】 「中堅職員に期待されること」 ①組織における中堅職員の立場と役割 ②日常行動の振り返りと業務改善の視点と行動・身近な課題をどう組織として共有するか ③仕事の課題解決のためのコミュニケーション ・正しい日本語を使う ・自分の働きを知る ・伝わるコミュニケーション ④人材育成の方法 ・コロナの今だから必要なOJT ・後輩指導の準備 ⑤人生100年時代の社会人基盤力 ・前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力から ・明日からはじめる事	生活支援員	1

1月27日～2月28日	全国社会福祉協議会	障害者虐待防止マネジャー研修	<p>【録画配信】</p> <p>基礎説明 「施設・事業所、虐待防止マネジャーの虐待防止の取組を振り返る」</p> <p>行政説明 「虐待防止のための取組状況」</p> <p>連絡レポート 「障害者支援施設・事業所等の、虐待防止のための取組実践」</p> <p>振り返り</p> <p>【Zoom】</p> <p>「人を育てる！コーチング」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの役割とは？ ・リーダーに必要な「育成力」 ・指導の基本ステップとは ・相手の心理をさながらにアプローチする ・コーチングとは何か ・人間成長のメカニズムを知る ・リーダーに求められる能力 ・部下・後輩の困りごとを聞く ・質問の種類とテクニック ・リーダーにとって必要なセルフマネジメント ・困ったスタッフとの話し方 ・信頼されるリーダーになるために 	サービス管理責任者	1
2月2日	茨城県社会福祉協議会	コーチング研修	<p>理事会・評議員会の運営方法と理事・監事の改選手続きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会の招集から開催日当日の運営～議事録まで ・理事・監事の入選の要件から就任まで 	生活支援員	2
2月6日～7日	全国福祉法人協会	理事会・評議員会の運営方法と理事・監事の改選手続	<p>理事会・評議員会の運営方法と理事・監事の改選手続きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会の招集から開催日当日の運営～議事録まで ・理事・監事の入選の要件から就任まで 	理学療法士	1
2月13日	全国社会福祉法人経営者協議会	会計実務者決算講座	<p>【Zoom】</p> <p>講義 「正しい会計処理、決算業務のポイント」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会福祉法人会計基礎における決算業務のポイント ②社会福祉法人会計画 ③その他の留意事項等について 	生活支援員	1
2月17日	茨城県社会福祉協議会	給食担当職員研修	<p>【録画配信】</p> <p>講義・基礎 「和食の基本、ごはんの炊き方、味噌汁の作り方」</p> <p>講義 「福祉施設における食品衛生管理について」</p> <p>講義 「高齢者施設の管理栄養士業務～給食管理とマネジメント業務の両立」</p> <p>講義 「こどもの給食栄養管理と教育」</p>	調理員	1
2月17日	茨城県社会福祉協議会	社会福祉施設等管理・代表者研修	<p>【Zoom】</p> <p>講義・情報交換 「社会福祉法人（福祉事業所）が人と資金と共感を集め、社会を良くする持続可能な組織になるために」</p> <p>～これからの福祉経営の視点、フアワードレイジングの理論をもとに～</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会課題を解決するための資金確保と仲間づくり ②社会課題を解決するための資金確保と仲間づくり ③（国の動き、地域の動きを知ろう） ④地域の中で生き残るために必要なこと ⑤組織内の意思統一と地域とのつながりづくり 	施設長	1

2月20日	あいおいニッセイ同和損保	虐待事故防止の具体策	<p>【動画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設職員による虐待事件増加の背景 職員教育の問題点 虐待事件の原因分析 虐待で取り組む虐待防止の具体策 ①強性を失って虐待してしまうケース ②現場のモラル低下により悪化で虐待 ③著しく適正を失く職員が虐待するケース ④家族のハラハラメントへの反応から虐待 ⑤おもしろ半分のいたずらが虐待 <p>【動画配信】</p> <p>基調報告 「支えて頂いた皆さんにお伝えしたい事～12年を振り返る」</p> <p>行政説明 「障害福祉施設の動向」</p> <p>講義 「障害者権利条約の対日審査を講み解く①」</p> <p>座談会 「障害者権利条約の対日審査を講み解く②」～障害者支援施設のこれから～</p>	サービス管理責任者 看護師 生活支援員	3
3月7日～31日	全国身体障害者施設協議会	経営セミナー	<p>個別相談支援とケアマネジメント (グループワークによる事例報告)</p>	サービス管理責任者	1
11月3日 1月12日 3月8日	茨城県社会福祉協議会	茨城県障害者相談支援従事者研修 (現任研修)		生活支援員	1
3月8日	茨城県社会福祉協議会	福祉サービス苦情解決研修会	<p>【Zoom】</p> <p>演題 「福祉サービスにおける苦情解決体制の仕組みづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉の利用者に対する接し方を振り返る 利用者等が苦情相談をしやすい環境づくり 第三者委員設置の必要性 利用者家族からの困難な苦情 	サービス管理責任者	2
3月22日	日本福祉タッチケア協会	タッチケアセミナー	<p>タッチケアを通して支援者と利用者様とのよりよい人間関係を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> 手の治療力 タッチケア実技指導 ・JW(ジャパンウェルフェアタッチケア)を知る ・JWを体験する ・実施施設事例発表と導入の流れ 	生活支援員	1
3月24日	茨城県社会福祉法人経営青年会	第2回セミナー	<p>講演 「未来を創るリーダーシップ」</p>	生活支援員	1
3月25日	全国障害者総合福祉センター (戸山ウツライズ)	障害児・者とのコミュニケーション支援基礎研修	<p>【Zoom】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害とは何か? コミュニケーションを考える際に大切な事 ・コミュニケーションとDAISYの取組 ・情報アクセシビリティとコミュニケーション支援 	生活支援員	1
3月28日	全国社会福祉法人経営者協議会	障害福祉事業経営セミナー	<p>【Zoom】</p> <p>基調説明 「社会福祉施設における虐待・権利侵害の根絶に向けて」</p> <p>行政説明 「改正障害者総合支援法を踏まえた今後の障害福祉施設の動向」</p> <p>講義 「これからの障害福祉事業経営の展望と課題」</p> <p>パネルディスカッション 「地域共生社会の構築に向けた障害福祉事業経営の在り方」</p>	理学療法士	1